

令和 3 年度 事業報告書

横浜市立動物園等指定管理者

1 総括

2 管理体制

3 運営及び経営の取組

4 動物の飼育管理

5 施設等の維持管理

6 管理運営経費

令和3年度 横浜市立動物園等 事業報告書 目次

1 総括	5
2 管理体制	5
(1) 動物園等の管理体制.....	5
(2) 人材マネジメントの取組.....	6
(3) リスクマネジメントへの対応.....	9
3 運営及び経営の取組	10
(1) 目標達成状況.....	10
(2) マーケティング戦略の展開.....	11
(3) 動物園マネジメントの取組.....	21
(4) 学校教育の取組.....	26
4 動物の飼育管理	27
(1) 飼育現場での取組.....	27
(2) 保全に貢献する取組.....	31
(3) 調査・研究等に対する取組.....	36
5 施設等の維持管理	39
(1) 施設及び設備の維持管理.....	39
(2) 園地及び遊具等の維持管理.....	40
(3) 施設及び設備等の安全対策.....	41
6 管理運営経費	42
(1) 算定の考え方.....	42
参考資料	45
1 野毛山動物園開園70周年の取組.....	45
2 金沢動物園開園40周年の取組.....	45
3 広報印刷物実績.....	46
4 ホームページでの情報発信実績.....	48
5 寄付を活用した展示場改修等の実績.....	49
6 学校教育向けプログラム実績.....	50
7 動物園研究会実績.....	51

□ 指定管理者

法人名	公益財団法人横浜市緑の協会
所在地	中区日本大通 58 番地 日本大通ビル 2 階 (本部)
代表者	理事長 福山 一男
設立年月日	昭和 59 年 10 月 1 日
指定の期間	平成 28 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日 (よこはま動物園、野毛山動物園、万騎が原ちびっこ動物園、金沢動物園ならびに野毛山公園、金沢自然公園)

□ 施設の概要

施設名	所在地	管理対象施設
よこはま動物園	旭区上白根町 1175-1	管理施設、および便益施設
野毛山動物園 野毛山公園 (動物園を除く)	西区老松町 63-10	管理施設、および便益施設
万騎が原ちびっこ動物園	旭区大池町 65-1 (こども自然公園内)	管理施設
金沢動物園 金沢自然公園 (動物園を除く)	金沢区釜利谷東 5-15-1	管理施設、および便益施設

□ 動物点数 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

よこはま動物園	99 種 595 点
野毛山動物園	82 種 1,805 点
万騎が原ちびっこ動物園	3 種 114 点
小計	82 種 1,919 点 ※同じ種を 2 園で飼育 (3 種)
金沢動物園	51 種 1,156 点
合計	199 種 3,670 点

□入園者数

(単位：人、カッコ内は前年度比%)

年度	よこはま動物園	野毛山動物園	万騎が原 ちびっこ動物園	金沢動物園	合計
H11	2,246,476 (-)	354,504 (75.7%)	133,355 (113.2%)	399,049 (65.8%)	3,133,384 (-)
H12	1,336,842 (59.5%)	374,400 (105.6%)	126,780 (95.1%)	283,051 (70.5%)	2,121,073 (67.7%)
H13	1,267,011 (94.8%)	509,514 (136.1%)	143,070 (112.8%)	286,170 (101.1%)	2,205,765 (104.0%)
H14	1,066,189 (84.1%)	474,984 (93.2%)	126,192 (88.2%)	268,841 (93.9%)	1,936,206 (87.8%)
H15	1,059,479 (99.4%)	531,661 (111.9%)	158,962 (126.0%)	271,463 (101.0%)	2,021,565 (104.4%)
H16	959,749 (90.6%)	449,658 (84.6%)	185,484 (116.7%)	264,134 (97.3%)	1,859,025 (92.0%)
H17	1,014,329 (105.7%)	497,875 (110.7%)	172,911 (93.2%)	288,524 (109.2%)	1,973,639 (106.2%)
H18	1,044,563 (103.0%)	542,537 (109.0%)	157,654 (91.2%)	310,237 (107.5%)	2,054,991 (104.1%)
H19	1,107,583 (106.0%)	547,461 (100.9%)	131,037 (83.1%)	301,503 (97.2%)	2,087,584 (101.6%)
H20	1,153,756 (104.2%)	577,807 (105.5%)	134,547 (102.7%)	330,496 (109.6%)	2,196,606 (105.2%)
H21	1,221,868 (105.9%)	680,777 (117.8%)	140,678 (104.6%)	355,067 (107.45)	2,398,390 (109.2%)
H22	978,791 (80.1%)	659,759 (96.9%)	105,277 (81.8%)	316,843 (89.2%)	2,060,670 (85.9%)
H23	959,231 (98.0%)	765,085 (115.9%)	128,577 (122.1%)	292,333 (92.2%)	2,145,226 (104.1%)
H24	889,489 (92.7%)	992,464 (129.7%)	164,733 (128.1%)	279,980 (95.7%)	2,326,666 (108.4%)
H25	920,787 (103.5%)	968,855 (97.6%)	174,078 (105.6%)	284,843 (101.7%)	2,348,563 (100.9%)
H26	941,781 (102.2%)	1,012,000 (104.4%)	185,864 (106.7%)	285,459 (100.2%)	2,425,104 (103.2%)
H27	1,216,132 (129.1%)	1,095,448 (108.2%)	138,266 (74.6%)	287,099 (100.6%)	2,736,945 (112.9%)
H28	1,086,486 (89.3%)	844,401 (77.1%)	121,509 (87.9%)	305,858 (106.5%)	2,358,254 (86.2%)
H29	1,149,654 (105.8%)	721,131 (85.4%)	126,563 (104.2%)	321,990 (105.3%)	2,319,338 (98.3%)
H30	1,077,317 (93.7%)	638,518 (88.5%)	121,219 (95.8%)	299,098 (92.9%)	2,136,152 (92.1%)
R1	982,820 (91.2%)	548,927 (86.0%)	106,528 (88.0%)	246,982 (82.6%)	1,885,257 (88.3%)
R2	754,247 (76.7%)	390,886 (71.2%)	34,202 (32.1%)	263,224 (106.6%)	1,442,559 (76.5%)
R3	1,032,780 (136.9%)	500,925 (128.2%)	65,107 (190.4%)	322,346 (122.5%)	1,921,158 (133.2%)

※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の通り入園制限等を実施。

・3動物園共通

8月の土日祝に開催の「よこはま夜の動物園」を途中中止（全10日のうち9日間中止）。

・よこはま動物園

4月1日（月）～8月1日（日）：平日は予約は不要、土日祝日は予約制により1日の入園者数を8,000人程度に制限。

8月4日（水）～9月30日（木）：全日予約制により1日の入園者数を8,000人程度に制限。

10月1日（土）～10月31日（日）：平日は予約は不要、土日祝日は予約制により1日の入園者数を8,000人程度に制限。

11月1日（月）～11月28日（日）：平日の予約は不要、土日祝日は予約制により1日の入園者数を10,000人程度に制限。

（上記の予約制は、インターネット・電話により受付）

・万騎が原ちびっこ動物園

1月2日（日）～3月21日（火）：管理事務所外壁改修工事のため、臨時休園

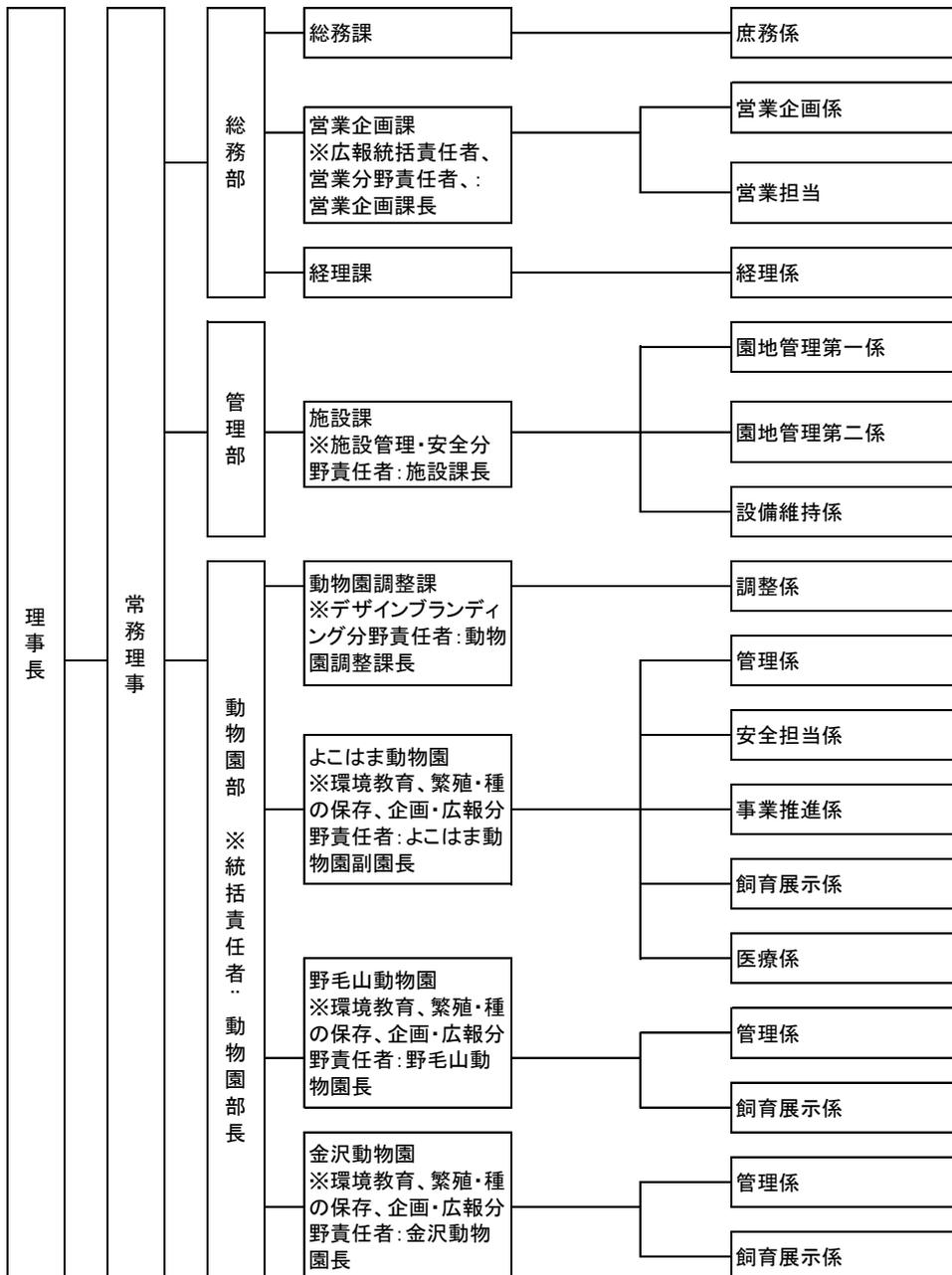
1 総括

令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の拡大防止に努めました。横浜市からの要請によるよこはま動物園の入場制限やよこはま夜の動物園の急遽中止等、コロナの状況に応じて中止や内容変更を行いながらの事業実施となりました。一方、野毛山動物園は開園70周年、金沢動物園は開園40周年を迎え、一部のイベント・催事については、感染拡大防止対策に十分に配慮しながら事業を実施しました。

2 管理体制

(1) 動物園等の管理体制

本部に3動物園と横浜市との調整部門として動物園調整課を置き、重要な事業については役員まで判断を仰ぎ、適切にガバナンス体制を整えました。また、業務の円滑化を図るため、統括責任者の下に動物園調整部門を置き、動物園の現場には、高い専門性を発揮できるように、責任者として課長職を、専門分野ごとの責任者として係長を配置し、各園の管理運営を行いました。



<コロナ対策の取組>

① 来園者に対する取組

国の緊急事態宣言、まん延防止等重点措置、横浜市からの感染防止に係る通知等に基づき、基本的なマスク着用、手指のアルコール消毒の実施、園内施設のこまめな消毒、密を避けるためのサインの掲出や呼びかけを行いました。また、イベント等も適宜人数制限やオンラインを活用するとともに、よこはま動物園では、園内での密を避けるため11月28日まで人数制限を行いました。

② 職員に対する取組

各園においては、職員向けのガイドラインを整備し、職員の出勤時の検温の実施、就業中のマスク着用、手洗い等の基本的な感染防止対策を徹底したほか、業務の状況を勘案しつつ、時差出勤、自宅勤務等の対策を行いました。

職員間の感染拡大を防止し、動物園の運営、動物の飼育管理に支障が生じないよう努めました。

(2) 人材マネジメントの取組

平成27年に改定した人材育成ビジョンの改定に着手し、骨子案を作成しました。動物職、獣医職等の専門職の育成については、長期的に取り組むべき課題と位置付け、OJT（職場内訓練・教育・研修）およびOff-JT（職場外訓練・教育・研修）を組み合わせて人材育成に取り組むほか、必要な資格の取得を奨励しました。また、将来的なマネージメント層の育成として中堅職員研修、マーケティング研修を新規に行いました。

① 計画的な人材育成

お客様サービスや専門性向上のための研修や目標設定等を行い、人材育成を図りました。

【研修等の実施実績】

<基本研修>

実施日時	研修名	対象者
6月15日	文書事務取扱・経理事務取扱研修	文書事務担当者、経理事務担当者
8月～12月 DVD視聴	CS・接遇研修	全職員
8月～12月 DVD視聴	個人情報保護研修	全職員
8月～12月 DVD視聴	人権啓発研修	全職員
11月2日	SNS研修	広報担当者
11月5日、11月8日	普通救命講習 (AED含む)	新採用職員、未受講者、前受講から3年経過した者
12月～1月 DVD視聴	ハラスメント研修	管理職
12月～1月 DVD視聴	メンタルヘルスケア研修	管理職
2月8日	安全運転講習	自動車運転従事者
毎月	情報セキュリティ研修	全職員

< 専門職研修 >

実施日	研修名	対象者
5月10日、5月18日、 5月24日	【新規】内部講師によるキジ類の人工授精技術 研修	動物職
12月～3月	【新規】WILD ABOUT WELFARE E-Learning (※ WILD WELFARE 主催)	動物職 (全員受講)
2月	ヒヤリハット研修	動物職
2月7日	(公社)日本動物園水族館協会(以下、「日動 水」という。)主催 動物園参加型研修会 ～動物福祉に沿った教育プログラム開発～	動物職
2月16日	日動水主催 水族館参加型研修会 ～SDGsを伝える教育プログラム開発～	動物職
2月22日	【新規】SDGs研修	全職員
毎月	楽しく学ぶ動物園学(よこはま動物園園長によ る講義)	動物園職員
毎月	動物園研究会	各動物園職員

※WILD WELFARE とは

動物飼育施設を専門技術でサポートする NGO。飼育下動物の動物福祉水準の向上のため、世界動物園水族館協会(以下「WAZA」という。)と連携している。

< 階層別研修 >

実施日	研修名	対象者
4月1日、4月2日	新採用飼育・ガイド研修	新採用動物職
12月8日、12月10日、1月24日	管理職研修	管理職
2月21日	【新規】中堅職員研修	30代前後の職員
2月28日	【新規】マーケティング研修	事務職員

< MBO (目標管理制度) >

各園の目標を職員が共有し、職員一人一人が上司と相談しながら各園の目標達成に向けた自らの年間目標を設定し、進捗管理を行いました。業務改善や目標の達成に向けて自ら取り組むことで、職員のモチベーション向上を図っています。

② 資格取得の奨励

業務を安全かつ適切に遂行するため、67名が様々な資格を取得しました。

【資格取得実績】

資格名	取得目的	取得人数
飼育技師	飼育関係職員の資質向上のため	6名(よ) 6名(野) 5名(金)
フォークリフト運転業務 従事者安全衛生教育	獣舎清掃に必要なため	1名(よ)
刈払機取扱作業従事者安 全衛生教育	展示場の除草に必要なため	2名(よ)、6名(金)
フルハーネス型墜落制止 用器具特別教育	止まり木のメンテナンス等高所での 作業に必要なため	4名(よ) 11名(野)

伐木作業の業務に係る特別教育	止まり木の交換作業等に必要なため	2名（金）
チェーンソー特別教育	止まり木の交換作業等に必要なため	8名（よ） （内6名は補講）
振動工具特別教育	飼育環境整備に必要なため	1名（よ） 8名（野）
アーク溶接特別教育	飼育環境整備に必要なため	1名（よ）
丸のこ等取扱い作業従事者に対する安全衛生教育	飼育環境整備に必要なため	6名（よ）

③ 安定的な雇用確保と技術継承への取組

令和2年度末に職員3名が退職したため、新たに3名の職員を採用し、若年層の強化を図りました。また、若手職員への技術継承にOJTを通じて取り組みました。

【主な技術継承への取組】

動物園	取組例
よこはま	ゾウ飼育担当職員に対し、育成カリキュラムにそって育成を実施。
野毛山	採用3年未満の飼育職員を対象に、自身の業務への取組を広い視点で振り返ることを目的に、自身が属する班以外の業務すべて（広報・普及も含む。）を経験する実地研修を実施。（9月～12月）
金沢	ゾウ及びコアラ飼育担当職員に対し、育成カリキュラムにそって育成を実施。金沢自然公園保全管理計画に基づき、生き物の生息場所となる雑木林再生に向けた竹林管理の現場研修を動物職に対して実施。

④ 良好な職場環境づくりへの取組

職員が安全に業務に取り組めるよう、健康管理・職場環境の向上に努めました。また、横浜健康経営認証*において「クラスA」を取得しており、各事業所に職員用の血圧計等を設置すると共に、外部講師による健康講習会を実施しました。

【健康管理・職場環境づくり実績】

項目名	実施日
予防接種（破傷風、B型肝炎）	5月～12月
定期健康診断	7月～12月
健康講習会（安全衛生委員が代表して受講）	11月
特定業務従事者健康診断（レントゲン、滅菌、潜水作業等）	年2回
安全衛生委員会（よこはま）	毎月1回
コロナ感染防止対策の実施（手指消毒薬の設置、共用部分の消毒、定期的な換気等）	常時
事業所への血圧計設置、特定保健用飲料の自販機への導入	常時
公用車へのドライブレコーダー取り付け	常時
一般的な感染予防対策	適宜
衛生推進委員会（野毛山・金沢）	適宜

*横浜健康経営認証とは

職員の健康づくりを経営的な視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」に取り組む事業所を外部委員で構成される委員会にて審査、横浜市長が認証する制度（健康福祉局保健事業課所管事業）。

(3) リスクマネジメントへの対応

緊急時に対応する体制やマニュアルの整備を行い、定期的な訓練を行いました。

【訓練実施実績】

<防災訓練>

・よこはま動物園

実施日	令和3年10月14日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ42名
訓練内容	旭消防署都岡出張所の協力を得て、防災訓練を実施した。出張所の所長から防災について講話を受け、訓練では炎に見立てたパイロンに放水する水消火器による消火訓練や、火災現場内を想定した煙体験を験した。

・野毛山動物園

実施日	令和3年9月27日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ(万騎が原含ちびっこ動物園含む。)18名
訓練内容	西消防署への事前相談の下、災害時の自身の役割の確認、来園者誘導と緊急車両の導線確保訓練、担架の使用法、水消火器による消火訓練を実施した。

・金沢動物園

実施日	令和3年11月15日、16日
参加人数	当団体職員11名、委託業者スタッフ13名
訓練内容	金沢消防署釜利谷出張所の協力の下、初期消火訓練を実施した。園内に常設の散水栓を使用した放水訓練。水消火器による消火訓練のほか、カフェ厨房の火災報知器を発報させ、初期消火・来園者避難誘導訓練を行った。

<情報受伝達訓練>

・当団体全体

実施日	令和3年9月17日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ、約300名
訓練内容	午前11時に、横浜市域で震度5強の地震が発生した想定の下で、情報受伝達訓練を実施。職員の被災・出勤状況の把握、園内の被災状況を調査し、動物園調整課に情報を集約し、各種被災状況を協会本部総務課へ報告した。

<動物逃亡捕獲訓練>

・よこはま動物園

実施日	令和4年2月1日
参加人数	当団体職員、委託業者スタッフ 約100名
訓練内容	横浜市域で大規模な地震が発生した想定で、スマートラトラ逃亡時の避難誘導・動物捕獲の訓練(捕獲用具等の使用確認を含む。)を実施した。

・野毛山動物園

実施日	令和4年2月7日
参加人数	当団体職員 20名
訓練内容	横浜市域で大規模な地震が発生し危険獣が逸走した想定の下で、避難誘導・動物捕獲訓練(捕獲用具等の使用確認を含む。)を実施した。また、他園の事故事例を参考に初動動作の重要性等を確認し合う机上訓練を実施した。

・金沢動物園

実施日	令和4年2月14日
参加人数	当団体職員 37名
訓練内容	横浜市域で大規模な地震が発生し水モート内にクロサイが転落した想定で、救出シミュレーション訓練を実施した。その他、捕獲用具点検、麻酔銃試射訓練、発電機手動始動訓練を実施した。

3 運営及び経営の取組

(1) 目標達成状況

① 入園者数

目標に対する実績は以下のとおりでした。コロナの影響による、よこはま動物園の入園制限、「よこはま夜の動物園」の途中中止等、大きな影響を受けたものの、よこはま動物園は、平成30年度以来の100万人を超えるお客様、金沢動物園は平成29年度以来の30万人を超えるお客様に来園いただきました。

園名	目標入園者数	令和3年度入園者数（目標達成率）
よこはま	1,250,000人	1,032,780人（82.6%）
野毛山	700,000人	500,925人（71.6%）
金沢	330,000人	322,346人（97.7%）

② 国際的な繁殖計画への参画・連携数

参画・連携数の目標10種に対し、セスジキノボリカンガルー、レッサーパンダ、オカピ等10種について参画・連携しました。

目 標	キノボリカンガルー・レッサーパンダ等10種について、国際的な繁殖計画へ参画・連携する。
取 組 概 要	<p><参画した種>4種</p> <p>① セスジキノボリカンガルー(GSMP):ペアリングを実施。</p> <p>② レッサーパンダ(GSMP):ペアリングを実施。</p> <p>③ オカピ(SSP):ペアリングを実施。</p> <p>④ スマトラトラ(GSMP):ペアリングを実施。</p> <p><連携した種>6種</p> <p>⑤ ヤブイヌ(EEP):ペアリングを実施。</p> <p>⑥ テングザル:引き続き1年間の飼育委任覚書の締結について調整を実施。(原契約の更新についても調整継続。)</p> <p>⑦ コアラ:アンバサダー契約に基づき、導入した新規個体も含めた飼育報告を行う等調整継続。</p> <p>⑧ インドライオン:ネール動物園(インド)と新規個体導入の調整を実施。(当該個体のCOVID-19感染のため輸入延期。)</p> <p>⑨ アカアシドゥクラングール:ZPO(タイ王立動物園機構)との個体交換の調整を実施。(日本政府機関の許可が下りず。)</p> <p>⑩ ヘサキクガメ:国際血統登録者(兼 EEP 調整者)およびカーディフ大学(イギリス)と協力して遺伝子解析の実施に向けた調整を実施。(コロナの影響で事業の進捗が滞っている。)</p>

*GSMP:WAZA が策定する国際種管理計画

**SSP:北米動物園水族館協会(AZA)が策定する種保存計画

***EEP:欧州動物園水族館協会(EAZA)が策定する欧州絶滅危惧種計画

③ 学校教育向けプログラムの改善

コロナの影響による受入れ中止や学校等からの申込みがなかったため、プログラムの実施は21種にとどまりました。一方、プログラムの改善については、目標3件に対し、6件を改善しました。 ※プログラムの実施状況は、参考資料P.50～51参照

目標	学校等の団体に25種の環境教育プログラムを実施し、これらプログラムについての改善を3件以上行うこととする。
改善概要	<p>① 「飼育員の日」「職業インタビュー」等、ほぼすべてのプログラムをオンライン対応可能とした(3園)</p> <p>② 獣舎バックヤードツアー(よこはま) コロナ対応として、タブレットを使用し、レクチャールームと動物舎をオンラインで中継してバックヤード紹介する方法に改善した。</p> <p>③ かんさつ名人になろう(野毛山) 動物福祉への配慮として、夏の暑い時期は実施を縮小し、涼しい季節にオンライン授業を実施する方法に改善した(7月、12～2月)。</p> <p>④ どうぶつ園のじゅうい(金沢) 国語の教科書「どうぶつ園のじゅうい」の著者である職員が出演するDVDを新規作成し、DVDの貸出しとオンラインでの質疑応答ができるよう改善した。</p> <p>⑤ コロナ対応として非接触型でバックヤードを使用しない新プログラム「虫はかせになろう」他2件を新規実施(金沢)。</p> <p>⑥ コロナ対応として「動物のほねときん肉」を非接触型に改善(金沢)。</p>

(2) マーケティング戦略の展開

① 潜在的な来園者を想定した来園者増の取組

来園されたことのないお客様の来園を促すため、広報活動のほか、横浜市や民間事業者との連携等により認知度の向上を図りました。

ア 目標達成状況

広報活動に関する目標達成状況については以下の通りでした。

種別	媒体	令和3年度目標および実績	
直接 広報	ポスター、チラシ、ホームページ、SNS等 (P.12～13参照)	目標	<ul style="list-style-type: none"> ポスター制作：5回 ホームページイベント特設サイト制作：1回
		実績	<ul style="list-style-type: none"> ポスター制作：5回(春1、夏2、秋1、冬1) ホームページイベント特設サイト制作：3回(よ1、野1、金1)
間接 広報	記者発表、雑誌、市・区広報紙、web (P.14参照)	目標	メディア掲載件数：1,000件
		実績	908件 新聞：106件(よ56件、野23件、金25件、2園または3園2件)、テレビ・ラジオ：133件(よ74件、野19件、金36件、2園または3園4件)、雑誌：46件(よ43件、野2件、金1件)、インターネット：335件(よ231件、野27件、金61件、2園または3園16件)、その他(フリーペーパー等)：288件(よ196件、野17件、金56件、2園または3園19件)

広域 広報	SNS でのキャン ペーン (P. 13 参照)	目標	3回
		実績	5回 (よ1、野3、金1)

イ 直接広報

(ア) 看板類の掲出

各園の利用者層やエリアに合わせて多様な媒体・方法で広報宣伝活動を行いました。野毛山動物園では開園 70 周年*に合わせ、横浜市交通局と連携し、観光路線バス「ぶらり野毛山動物園 BUS」の前面に 70 周年ロゴマークを掲出して運行しました。また、金沢動物園では開園 40 周年*に合わせて地元商店街と連携し、記念フラッグの掲出を行いました。 ※野毛山動物園開園 70 周年、金沢動物園開園 40 周年の取組については、参考資料 P. 45～46 参照

【主な看板類等掲出状況】

園名	掲出場所
よこはま	横浜駅 (相鉄線)、鶴ヶ峰駅 (相鉄線)、三ツ境駅 (相鉄線)、中山駅 (グリーンライン・JR)、日吉駅 (グリーンライン)、あざみ野駅 (ブルーライン) 等。
野毛山	動物園通りバナーフラッグ、野毛山動物園前バス停前・野毛坂途中の 3 動物園掲示板、野毛ちかみち掲示板・デジタルサイネージ、ぶらり野毛山動物園 BUS 等。
金沢	関東学院大学・すずらん商店街との共同バナーフラッグ (すずらん商店街)、大型看板 (金沢文庫駅ホーム)、バナーフラッグ (ふれあい商店街)、開園 40 周年記念フラッグ (金沢自然公園、ふれあい商店街) 等。

(イ) 広報印刷物 (ポスター、チラシ、リーフレット等) の配布、掲出

年間を通して統一性のあるブランディング向上を図るため、春、秋、冬のポスターデザインを同一事業者で行うよう改善を図り、沿線の駅等への掲出を行いました。

よこはま動物園では、里山ガーデンフェスタと連携してポスターを作成し、里山ガーデンとあわせて来園を促進するよう取り組みました。野毛山動物園では、開園 70 周年に合わせ、注目の動物のトピックスを掲載した季刊誌「ふぉ～し～ず～ん」の特別号を発行しました。金沢動物園では、開園 40 周年ロゴを作成し、12 月から園内マップやポスターへの掲載を始めました。 ※実績については、参考資料 P. 46～47 を参照

(ウ) 有料広告の出稿

イベント情報や施設情報について、効果的な情報発信を行うため、有料広告の出稿を行いました。引き続き横浜市営バス (ぶらり野毛山 BUS) への 3 動物園のポスター掲出を季節ごとに行うとともに、新たに、金沢動物園では開園 40 周年に合わせ、沿線以外の方々への認知度向上を図るため、市営地下鉄横浜駅に特大ポスターの掲出、市内全域でのごみ収集車のアナウンスを利用した PR を実施しました。

【有料広告出稿実績】

園名	媒体名	内容
3 園	横浜市営バス	季節のイベント情報

金沢	市営地下鉄横浜駅改札	開園 40 周年情報
	横浜市ごみ収集車	開園 40 周年情報

(エ) ホームページ、SNS の活用

ホームページやブログでは、積極的に最新情報を発信し、動物園の理解促進につなげました。よこはま動物園では、ナイトズーラシアと同時開催のイベント特設サイトを立ち上げたほか、新たに飼育動物以外の園内で見られる動植物をテーマにした「ズーラシア春夏秋冬」ブログを追加しました。野毛山動物園、金沢動物園ではそれぞれ開園 70 周年、開園 40 周年に関連した情報を発信する特設サイトを立ち上げました。※実績については、参考資料 P. 48～49 を参照

【ホームページアクセス件数】

園名	令和 3 年度	前年度比
3 園合計	4, 311, 137 件	+856, 156 件

【ブログでの情報発信・閲覧件数】

		令和 3 年度	前年度比
3 園合計	発信件数	1, 334 件	+146 件
	閲覧件数	3, 062, 338 件	+772, 015 件

このほか、SNS (Facebook、Twitter、Instagram)、動画共有サイト (YouTube) を利用し、イベント情報や飼育動物についての情報等をタイムリーに発信し、新たなフォロワー (ファン) の獲得、情報の拡散につなげました。新たに Twitter を活用したキャンペーンを実施し、来園促進につなげました。

【Twitter 実績】

		令和 3 年度	前年度比
3 園合計	新規フォロワー数	31, 656	+6, 944
	エンゲージメント数 (いいね、RT)	2, 242, 544	+889, 713

【Twitter キャンペーン実績】

園名	概要
よこはま	「ズーラシア写真祭」を実施し、設定した 8 つの部門にあった写真を募集し 2, 740 件の投稿をいただき、一部の投稿写真を園内に掲示しました。
野毛山	10 月の「世界キツネザルの日」、11 月の「世界アライグマの日」、2 月の「キリンのぞら誕生日」に関連して、Twitter クイズ回答者へのポストカードプレゼントキャンペーンを実施しました。
金沢	開園 40 周年記念クラウドファンディングと連動した「Twitter 上に金沢動物園を再現しよう」キャンペーンを実施。過去から現在の動物たちを #金沢 Z0040 周年と共に投稿してもらいました。

ウ 間接広報

(ア) プレスリリースによるパブリシティの活用

積極的・効果的なプレスリリースを行い、テレビ・新聞をはじめとする多様な媒体に向けパブリシティを活用し、よこはま動物園ではツシマヤマネコの人工授精、野毛山動物園、金沢動物園ではクラウドファンディングへの取組に対して多くの取材がありました。

【プレスリリース件数】

	記者発表件数（前年度比）	メディア掲載件数（前年度比）
3園合計	95件（+39件）	910件（+207件）

(イ) 当団体広報誌、行政広報紙等への掲載

当団体が年4回発行し、管理公園やその他公共施設等で配布を行う季刊誌「みどり」に年間を通じて動物園情報を掲載しました。また、3動物園ともに「広報よこはま」やタウン紙への情報提供を継続的に行いました。

【行政広報紙への掲載実績】

園名	概要
よこはま	広報よこはま旭区、緑区、瀬谷区、都筑区、泉区、戸塚区（金沢動物園と同時掲載）、神奈川区版にて、毎月、情報を掲載した。
野毛山	開園70周年に合わせて、広報よこはま中区・西区版の7月号、9月号、11月号へ連載した。
金沢	開園40周年に合わせて、広報よこはま近隣5区版（金沢、磯子、港南、戸塚、栄）に特集記事などを掲載し、無料チケットや2割引チケットを添付した。（普段は個人での来園が少ないシニア層の来園促進に寄与）

エ 園外PR・地域連携活動

近隣地域を中心に、動物園外において実施されるイベント等と連携することで動物園のPRを積極的に行い、来園を促進するよう取り組みました。特に野毛山動物園は開園70周年での連携活動を強化しました。

【園外PR・地域連携活動実績】

(ア) よこはま

実施日	連携先	取組概要・実績
(3月27日)～5月9日、9月18日～10月17日、3月26日～(5月8日)	里山ガーデンフェスタ	パネル展や入園料の割引により、来園促進につなげた。里山からの割引利用来園：R3春2,062名、秋：中止、R4春650名
5月10日～6月30日	【新規】カワスイ（川崎水族館）	企画展等の連携イベントや、入園料の割引により、相互PRと来園促進につなげた。カワスイからの割引利用来園：95名
10月1日～12月27日	ららぽーと横浜	企画展等の連携イベントや、入園料の割引により、相互PRと来園促進につなげた。ららぽーとからの割引利用来園：2,774名

(イ) 野毛山

実施日	連携先	取組概要
(3月30日)～4月6日	横浜市庁舎	開園70周年パネル展等でPRにつなげた。
(3月31日)～4月13日	横浜高島屋	
5月31日～6月16日	西区役所	
6月21日～25日	中区役所	
7月13日～8月9日	横浜市中心図書館	中央図書館開業100周年との交換パネル展を行い、多くの市民に親しみを持ってもらい来園促進につなげた。
7月21日～8月31日	神奈川県立歴史博物館 含む近隣博物館	WEBで開催！ミュージアムミッション2021」を実施し、アクセス件数が3,660件あった。
10月21日～12月28日	横浜市社会福祉協議会	共同募金PR大使に就任したグレベシーマウマのバッジを寄付者に配布(約450件)することにより、募金と来園促進につなげた。
11月9日～28日	【新規】西区老人会	地元の老人会と開園70周年を記念した企画展(塗り絵)を実施し、地元との連携強化につなげた。
12月4日～19日	【新規】特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター	近隣で活動している芸術家と子供たちの作品を園内で展示し、地元連携と文化芸術振興の両面で貢献した。
12月12日	【新規】野毛地区センター	開園70周年を記念して動物園の写真コンクール及び展示を実施し、地元との連携強化につなげた。

(ウ) 金沢

実施日	連携先	取組概要
7月18日	【新規】横浜電波組※	オンラインクイズイベントを実施し32名の参加があり、視聴後金沢に行ってみたいと答えた人が94%と来園の動機づけとなった。
9月14日～12月26日	【新規】郵便局、横浜金沢観光協会、金沢区内幼稚園	郵便局150周年を記念し、塗り絵企画を実施。園内に掲示された塗り絵(約500点)を見るため、家族での来園促進につながった。
3月13日～	【新規】学校法人トキワ松学園横浜美術大学	横浜美術大学と包括連携協定を締結し、開園40周年を記念して、コアラをモチーフとした撮影スポット「腕はめコアラ」の制作等を実施しました。

※横浜電波組とは

横浜市立大学が主催する社会課題解決型イノベーションプロジェクトである「横浜をつなげる30人」から生まれたチームのひとつ。

オ 団体利用者等の誘致活動

学校団体の誘致や、前売券契約、福利厚生団体等との契約を行い、来園促進を図りました。

【学校団体入園者数状況】

園名	区分	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高校	計
よこはま	団体数	252	376	24	48	700
	人数	16,831	39,696	2,314	1,603	60,444
野毛山	団体数	110	115	8	5	238
	人数	6,552	9,477	624	212	16,865
金沢	団体数	145	106	7	9	267
	人数	9,351	10,691	619	143	20,804
計	団体数	507	597	39	62	1,205
	人数	32,734	59,864	3,557	1,958	98,113

【前売券入園者数状況】

名称	割引率	実施期間	よこはま (人数)	金沢 (人数)
コンビニ等	なし	通年	9,762	491
ホテル等	1割引		55	-
協賛企業向け	2割引		8,886	-
計			18,703	491

【福利厚生団体等入園者数状況】

名称	割引率	実施期間	よこはま (人数)
新聞社契約券	特殊契約	通年	1,175
福利厚生団体	2割引		99,214
提携企業会員カード	2割引		59,659
計			160,048

カ 民間事業者との連携

(ア) KDDI (株) との連携 (3 動物園・継続)

スマートフォン向けアプリ「one zoo」への参画を継続して行い、有料登録のユーザーを対象に、動物園の入園料が無料となるクーポンを配布しました。(利用者数：よこはま 88 名、金沢 11 名)。このほか、よこはま動物園においてコロナ拡大防止対策として実施した、入園者数制限のための予約制の実施について、KDDI (株) が運用する予約システムの無償提供を受けました。

(イ) コクヨ (株) (3 動物園・新規)

当団体職員向けに、コロナ感染防止のため「へんしんどうぶつマスク」400 枚の寄付を受けるとともに、来園者向けには、3 動物園で全国先行販売を実施し、購入者には 3 動物園限定の「へんしんシール」をプレゼントしました。

(ウ) 豊島 (株) (野毛山・新規)

開園 70 周年を記念して購入型クラウドファンディングの応援商品であるカ
グーのオリジナルエコバック制作に協力いただきました。

(エ) 京浜急行電鉄 (株)・(株) 京急アドエンタープライズ (金沢・新規)

京急キッズチャレンジ「1 日園長体験&動物を学ぼう！」を開催し、動物た
ちの見回り体験や飼育員からの動物クイズ、動物園の獣医体験等を実施し、10
組 20 名の親子に参加いただき、沿線施設としての魅力向上を図りました。

② 動物園により深くかかわる利用者を増やす取組

動物園が果たすべき役割 (種の保存、調査研究、環境教育、レクリエーション)
を多くの方々に知っていただき、ご支援・ご協力いただけるよう取り組みました。

※寄付を活用した施設改修等の実績は、参考資料 P. 49 参照

ア 寄付者を増やすための改善

各動物園ホームページに、「動物園を応援してください」の特設ページを新規
作成し、トップページに設置したバナーからアクセスできるようにしました。特
設ページでは、アニマルペアレント、その他寄付の支援方法や、横浜市動物園友
の会 (メンバーシップ) などについて、わかりやすく案内し改善しました。

また、前年度に引き続き、大口寄付者との良好な関係性を維持することで継続
した寄付を獲得し、よこはま動物園のテングザル展示場改修、野毛山動物園での
チンパンジー展示場改修、金沢動物園でのカピバラ、ヤギ展示場改修など動物た
ちの飼育環境改善に役立てました。

イ アニマルペアレント (動物の飼育環境改善に対する寄付)

各動物園ホームページからクレジットカード決済で寄付ができるよう改善し
ました。その効果もあり、申込件数は 505 件 (前年度比+139 件) と新たな支
援者獲得につながりました。会員の方向けには、ニュースレターの送付や、「感
謝の日」イベントを実施し、寄付者との関係つくりと動物園についての理解を深
めました。いただいた寄付は、動物たちの飼育環境の改善に活用しました。

【アニマルペアレント寄付実績】

園名	金額 (前年度比)
よこはま	3,110,000 円 (122.3%)
野毛山	1,965,000 円 (104.8%)
金沢	1,510,000 円 (113.1%)
計	6,585,000 円 (114.4%)

※前年度アニマルペアレントに寄付をいただいた大口寄付者分 (3,600 千円) をのぞいた比較。

令和 3 年度は別枠で寄付をいただいた。(別枠の寄付は 13,500 千円)

【アニマルペアレント感謝の日開催実績】

園名	実施日	内容	参加人数
よこはま	10 月 3 日	村田園長のサンクスツアー	15
	2 月 6 日	村田園長のサンクスツアー	20

		(ガイドツアー用冊子の送付で実施)	
野毛山	10月10日	開園準備中の動物園をのぞいてみよう	8
	2月27日	開園準備中の動物園をのぞいてみよう (動画配信で実施)	20
金沢	9月25日	小園長が語る金沢動物園アメリカ区今昔物語	3
	2月26日	動物の福祉に配慮した飼育管理の実践 エンリッチメントの現場探訪 (動画配信で実施)	20

※2月開催分はコロナのため代替え実施

【アニマルペアレント寄付の主な活用事例】

園名	実施内容	効果
よこはま	インドゾウ展示場の自動給餌器設置	日中でも給餌が行えるようになった。
野毛山	小獣舎に冷暖房機設置	老齢個体の適切な飼育管理につなげた。
金沢	ワラビー舎展示場ゴムチップ敷設	足裏疾病の防止につなげた。

ウ 横浜市動物園友の会

各園で行う例会や施設見学会等の会員を対象としたイベントや機関誌「Zoo よこはま」の発行(年4回)を通じて、市民と動物園とをつなぐ役割を果たしました。なお、コロナ拡大防止のため、総会、施設見学会は中止し、例会は会員限定での動画配信等により実施しました。

【横浜市動物園友の会 会員件数】

会員種別	会員件数(前年度比)
家族会員	143件(-2件)
大人会員	212件(+31件)
小人会員	5件(-1件)
賛助会員	2件(-2件)
計	362件(+26件)

エ 年間パスポート発行枚数

リピーター獲得のため、ポスターやホームページでの周知を行いました。金沢動物園では開園40周年記念限定デザインのパスポートを令和4年1月から2種類販売し、3月末までに1,136枚販売しました。

【年間パスポート販売実績】

園名	発行枚数	前年度比
よこはま	17,512	+3,232
金沢	3,615	+417
計	21,127	+3,649

オ 野毛山動物園募金

園内施設の改修や、来園者の利便性向上に資する取組に活用するため、園内に募金箱を設置し来園者からの寄付を募りました。いただいた寄付はレッサーパンダ展示場改修、授乳室の整備等に活用しました。なお、ホームページ等での広報

により、入園者数はコロナ禍で減少しましたが、募金額に関しては前年度比140%の増加となりました。

カ クラウドファンディングの実施

野毛山動物園開園70周年に合わせ、購入型クラウドファンディングとして当団体初の取組として実施しました（P.17参照）。また、金沢動物園においても寄付型クラウドファンディングとして、開園40周年に合わせた取組として実施しました。支援金は返礼品代等を除き、施設改修に活用しました。

【クラウドファンディング実績】

園名	実施期間	支援者	支援総額	用途
野毛山	4月1日～6月29日	2,314人	5,707,500円	レッサーパンダ展示場改修の一部に使用
金沢	1月17日～3月11日	824人	9,441,800円	インドゾウ自動給水装置等の整備に活用予定

キ 保全意識向上を図るプログラムの実施

動物園の理解者を増やすため、各種教育プログラムを実施しました。（P.33～36参照）

③ 利用者に関りを深めてもらう取組

利用者アンケートや広聴制度の運用を通じた分析やニーズの把握を行うとともに、部署間・関係事業者等との定例会議において情報共有・検討を行い、管理の質・来園者サービスの向上に取り組みました。また、職員のスキル向上のため、新たにマーケティング研修を実施しました。

ア 利用者調査アンケート

3動物園において、11月7日～30日に、前年度に引き続き二次元バーコードを使用したウェブサイト上での利用者調査アンケートを実施し、サービス向上につながる改善を実施しました。

【利用者調査アンケート結果による全体的な満足度】

園名	回答数	全体的な満足度（「とても満足」「やや満足」の合計） ※（）は前年度の数値
よこはま	666件	98.6%（98.1%）
野毛山	648件	98.1%（97.5%）
金沢	366件	97.0%（97.9%）

【アンケートに基づく改善の一例】

園名	サービス向上への取組
よこはま	・入園券券売機の更新に伴うキャッシュレス化。
野毛山	・授乳室のカーテンを二重構造に変更し、ベット、椅子、荷物置き等の備品を新調した。
金沢	・トイレの洋式化 ・正面口駐車場の駐車案内システムを更新した。

イ お客様のご意見・ご要望を伺う広聴制度

3動物園のホームページを通じ、年間で、よこはま動物園では34件、野毛山動物園では10件、金沢動物園では20件、3動物園園共通で4件のご意見・ご要望等が寄せられ、改善等の対応について検討し、回答しました。クレームについては、委託事業者スタッフ対応へのご意見が多く再発防止に向け、指導・教育を徹底しました。

【広聴件数】

園名	件数	内 訳				
		クレーム	意見・要望	質問・問合せ	お礼・励まし	その他
よこはま	34	2	30	0	1	1
野毛山	10	0	9	0	1	0
金沢	20	3	17	0	0	0
3動物園	4	0	3	0	1	0
計	68	5	59	0	3	1

【お礼の内容】

園名	内容
よこはま	障害者手帳を利用することを事前に伝えて来園された方から、バス乗り場の係員が次のバスの時間を教えるなど丁寧に対応してくれ、大変助かったとお礼をいただいた。
野毛山	野鳥観察が趣味の方からのオシドリの生態に関する問合せへの回答に対し、分からないことに丁寧に回答してもらいとても嬉しいとお礼をいただいた。
金沢	ゾウのエンリッチメント体験に参加した方から、個人的に学んでいた動物福祉を実際に体験できて大変大きな学びを得たとお礼をいただいた。

ウ モニタリングを通じた自己評価とその改善

年2回横浜市職員によるモニタリングを受けるにあたり、指定管理者業務仕様書に定められた事項等について、自己評価を行うとともに、横浜市と意見交換を行うことで建築物点検の点検様式統一化、継続した備品の棚卸の実施等業務改善につなげました。

エ 各種会議での情報共有・検討

警備、案内、飲食・物販等、お客様と接する機会の多い委託業者との定例会議を通じ、サービス向上、課題改善、円滑な管理運営に努めました。

【サービス向上の例】

園名	内容
3園	「雨の日キャンペーン」を行い、物販店でポンチョや傘の割引販売を実施した。(9月～11月)
野毛山	開園70周年記念メニューや商品の開発を行った。 (ラージャーランチプレート、レッサーパンダのおうち等)
金沢	開園40周年記念メニューや商品の開発を行った。 (ボンくんランチプレート、コアラバス缶チョコクランチ等)

(3) 動物園マネジメントの取組

① SDGs への取組

当団体では、令和3年4月に「SDGs 達成に向けた取組 2021-2030」を策定し、12月には、横浜市のSDGs認証制度”Y-SDGs”※において、上位認証の「Superior」を取得しました。SDGsの主な取組は以下のとおりです。

※Y-SDGsとは

SDG達成に向けて活動してる企業等を「環境」「社会」「経済」「ガバナンス」の取組状況に応じて横浜市が認証する制度(温暖化対策統括本部SDGs未来都市推進課所管事業)。

ア 環境分野

取組	主な内容
生物多様性の保全への貢献	動物の飼育現場での各種取組 P. 27～39 参照
環境負荷の低減に向けた取組	グリーン電力の導入、 動物の飼育管理における廃棄物等の活用 P. 30 参照

イ 社会分野

取組	主な内容
多様な教育普及	学校教育の取組 P. 26～27 参照、 保全意識向上を図るプログラム P. 33～36 参照
市民参加と市民協働による地域の活性化	園外PR・地域連携活動 P. 14～15 参照、 ボランティア活動 P. 25 参照
誰も安全・安心・快適に利用できる施設の管理運営	ドリームナイト・アット・ザ・ズー 下記②参照 防災訓練・動物逃亡捕獲訓練 P. 9 参照、 施設等の維持管理 P. 39～41 参照

ウ 経済分野

取組	主な内容
地域事業者との連携による地域経済の活性化	飼料の市内業者等からの調達等 P. 27 参照

エ ガバナンス

取組	主な内容
多様な主体とのパートナーシップによる事業推進	民間事業者との連携 P. 16～17 参照 ボランティア活動 P. 25 参照

② 自主事業や経営改善等の取組

ア 季節ごとに3動物園を楽しめる取組

よこはま夜の動物園中止の対応として、アスキー×LOVEWalker 編集部のYouTubeチャンネル「Love 横浜」で夏の3動物園の見どころ紹介に加え、金沢の開園40周年プロジェクトマップの紹介を行いました。また、野毛山では「おうちナイトのげやま」として8月1日に実施した様子を後日動画配信する等代替え企画を実施しました。

イベント名	概要	実施日	参加人数
よこはま夜の動物園	園内をライトアップして夜間開園し、関連イベントを実施。	8月1日のみ。他8月土日祝は、緊急事態宣言発令のため中止	よ：2,796 野：474 金：562

ドリームナイト・アット・ザ・ズー	社会貢献活動として、障がいのある子どもたちとその家族を夜の動物園へ招待。	緊急事態宣言発令のため中止	—
【新規】 3園シールラリー	閑散期対策（夏、冬）として、3園を巡り、動物園の役割を知っていただくシールラリーを実施。	7月22日～8月29日、1月8日～2月12日	夏：96 冬：244
動物感謝祭	3園で死亡した動物の慰霊碑がある野毛山動物園で、3園の動物の誕生、長寿、死亡に関するパネル展等を実施。	9月1日～20日	—
動物画コンクール	3園で展示している動物を題材にした絵画の募集と展示	募集：9月1日～9月30日 3園巡回展示：10月～12月	206
クリスマスイベント	クリスマスの雰囲気を楽しめるよう、クリスマス装飾や関連イベントを実施。	11月24日～12月25日	—
オリジナルポスター カレンダープレゼント	3園で異なる絵柄のものを先着100名プレゼント。3枚並べると1つの絵になる。	12月4日～26日の土日祝、1月2日、3日	3,000
お正月イベント	お正月飾り等で園内を装飾。	12月1日～1月10日	—

イ 各動物園の特色を生かした取組

(ア) よこはま

イベント名	概要	実施日	参加人数
とりたま	イースターにちなんで、鳥類の卵について紹介するパネル展	(3月3日)～4月5日	—
大うんち展	動物のフンの標本と動物のうんちについて紹介するパネル展	(3月3日)～5月31日	—
飼育の日パネル展	飼育の日にちなんで、飼育員への質問の回答を紹介するパネル展	(3月24日)～5月10日	—
ズーラシア ガーデンパーティー	テーマに合わせた園内装飾と飲食ブースを設置したガーデンパーティーを実施	(3月27日)～4月4日	26,458
ズーラシア夜市	ナイトズーラシア（よこはま夜の動物園）に合わせて、イルミネーションや飲食ブースを設置したズーラシア夜市を実施。	8月1日のみ。他8月土日祝は、緊急事態宣言発令のため中止	2,796

村田園長とっておき写真展	園長が撮影した動物の写真展と園長によるギャラリートークを実施。	9月1日～11月29日、ギャラリートーク11月23日	ギャラリートーク参加者43
秋の体力測定	スポーツの秋にちなんで、動物の能力を体感するイベントを実施。	10月9日、10日	—
ズーラシアフェス！～クマ、熊、くま？～	ズーラシアで飼育しているクマをテーマに、楽しく学べるイベントや関連雑貨の販売・ホッキョクグマに関する講演会を実施。	10月23日～11月14日土日祝 全9回 講演会：10月31日	71,079 講演会参加者：72
干支展「とらづくし」	寅年にちなんで、スマトラトラについて紹介するパネル展	12月1日～2月28日	—

(イ) 野毛山

イベント名	概要	実施日	参加人数
【拡充】開園70周年記念感謝祭	開園70周年記念日とその翌日に記念ノベルティを各日先着70名に無料配布。	4月1日、2日	140
【新規】開園70周年記念「野毛山動物園70年思いで巡り」	野毛山動物園の70年の出来事を写真や園内の色々な場所にパネルで掲示し、園内をめぐりる企画を実施。	(3月23日)～12月28日	—
【新規】開園70周年記念「あちこち70動物も一緒に70周年」	展示場周辺に70周年記念ロゴを設置し、動物と70周年記念ロゴがともに入るような撮影スポットを設置	(3月23日)～12月28日	—
【新規】開園70周年記念「70年のあゆみ・思い出のアルバム」	園内の休憩所で、開園から現在までの70年の歴史や変化について、デジタルサイネージを使用し写真と映像で紹介。	(3月23日)～12月28日	—
飼育員お仕事紹介	「飼育の日」にちなんで、飼育係員の日を写真などで紹介するパネル展	4月6日～18日	—
オリジナルこいのぼり展示	入園口前に野毛山の動物をモチーフとしたこいのぼりを展示	4月6日～5月5日	—
ナイトのげやま	よこはま夜の動物園に合わせて、イルミネーションによる装飾を実施。	8月1日のみ。他8月土日祝は、緊急事態宣言発令のため中止	474
【新規】タイムカプセル公開	開園50周年企画で募集したタイムカプセルの作品を展示及び返却。	11月2日～30日	—

レッサーパンダ展示場リニューアルパネル展	これまでの飼育の歴史等を紹介するパネル展	11月2日～12月19日	—
チンパンジーのピーコさん来園55周年パネル展	これまでの飼育の歴史等を紹介するパネル展	12月8日～3月31日	—
【改善】ツキノワグマ誕生日会	ツキノワグマの「サンペイ」と「コマチ」の誕生日会をSDGsを絡めた企画として実施。	12月12日	250

(ウ) 金沢

イベント名	概要	実施日	参加人数
ズーレンジャークイズラリー	希少動物に関するクイズラリー	6月1日～30日	17,658
夏を乗り切れ！納涼写真展	動物たちの暑さ対策（水浴び、スイカ給餌など）を写真で紹介	6月30日～7月31日	—
プロジェクションマッピング	ナイトかなざわ ZOO（よこはま夜の動物園）の期間中、なかよしトンネル出口（動物園側）にプロジェクションマッピングを投影。	8月1日のみ。他8月土日祝は、緊急事態宣言発令のため中止	562
ご長寿動物写真展	シルバーウイークに併せて長寿動物を写真で紹介	9月1日～10月10日	—
なるほどアニマルホスピタル写真展	野生傷病鳥獣保護事業を写真で紹介	11月2日～12月28日	—
どうぶつたちから年賀状展	動物たちからの年始のメッセージを各動物展示場前に展示	1月2日～10日	—
写真で振り返る金沢動物園展	金沢動物園の動物展示の変遷について紹介する写真展	1月2日～（5月31日）	—
【新規】開園40周年記念「写真で紡ぐ、思い出の中の金沢動物園」	来園者の方が、金沢動物園で撮影した写真やエピソードを募集し、写真展を開催。応募者数名に対するインタビュー映像を作成、YouTube等で配信。	3月19日～（5月31日）	—
【新規】開園40周年記念「金沢動物園今昔パネル展」	園内の各展示場前で、金沢動物園の今とこれまでをパネルで展示。	3月19日～（12月28日）	—

ウ ふれあい体験

各動物園で、コロナの状況、動物福祉に配慮しながらふれあい体験を可能な範囲で実施しました。

園名	場所	プログラム	実施内容
よこはま	ばかばか 広場	ひき馬体験	コロナのため 12/1～12/24（平日のみ）12/25～1/20（全日）実施。
		自然体験林でひき馬体験	園内施設整備のため中止。
		馬の飼育員になってみよう	コロナのため中止。
		えさやり体験	馬の餌やり体験を餌やり棒を介した非接触で実施。（有料）
		モルモット・ネズミのおうち	コロナのため、展示のみ実施。
	サバンナ	ラクダライド	コロナのため、展示のみ実施。
		ピグミーゴートとのふれあい	コロナのため、展示のみ実施。
野毛山	なかよし 広場	モルモット、ハツカネズミ等とのふれあい	コロナのため、展示のみ実施。また、コロナ対応及び動物福祉の向上を図るふれあい方法に改善するため、職員を対象に試行を実施。
金沢	ほのぼの 広場	ヤギさんのおやつタイム	ヤギとヒツジの餌やり体験を動物と非接触（直手でなく用具使用）で実施。

エ ボランティア活動

コロナの状況に配慮しながら、可能な範囲で活動への協力を実施しました。
（活動人数：よこはま 2 団体 30 人、野毛山 2 団体 14 人、金沢 4 団体 397 人）

園名	主な取組
よこはま	動物の展示場前でのガイドはコロナ禍で休止したが、動物に関するポスターを作成し掲出した。
野毛山	コロナ禍でガイド活動は中止したが、ナイトのげやまで動物の看板を制作して展示。（8月1日）、園内の市電にて活動報告パネル展を実施した。（12月20日～2月27日）
金沢	コロナ禍でガイド活動は中止したが、「Zoo to wild Fes Spring」（P.36 参照）で掲示する看板を作成、設置した。また、植物区エリアでの樹林地、竹林等の管理補助を行った。

オ 経営改善の取組

事業資金の調達では、クラウドファンディングやアニマルペアレント等による外部資金の獲得に取り組みました。（P.17～19 参照）

また、横浜市健康福祉局による認証制度「横浜健康経営認証」の取得団体として、事業所への血圧計の設置や健康講習会の実施など職員の健康保持・増進に積極的に取り組みました。（P.8 参照）

(4) 学校教育の取組

よこはまは「世界」、野毛山は「身近」、金沢は「自然」といった各園の特徴を活かした教育プログラムを企画、実施しました。コロナ対応として、オンラインでのプログラム実施やDVDの貸出しも継続しました。※それぞれのプログラムの実績については、参考資料P.50～51参照

① 学校教育向けプログラム（3動物園）

ア 来園プログラム

16種のプログラムを実施し、3動物園で10,505名（前年度比+9,795名）の参加がありました。

【主な来園プログラムの評価】

園名	実施内容	評価
よこはま	コロナ対策によりバックヤードへの立入ができないため、レクチャールームと獣舎をオンライン中継でつなぎ、獣舎に入らなくても獣舎を体験できるプログラムを実施した。	獣舎の構造や飼育の工夫を生配信で見せることで、実際の獣舎の見学と同様の学習効果が得られた。
野毛山	「飼育員の一日」、「職業講話」、「職業インタビュー」、「どうぶつの赤ちゃん」のプログラムについてオンライン対応できるようにした。	オンライン対応であったが、児童が興味を持って聞いていたと先生からお礼の言葉を受けた。
金沢	令和2年度に企画した「虫はかせになろう」を初実施した。近隣の幼稚園と小学校にモニター参加してもらい、未就学児と小3理科に対応した2パターンのプログラムを作成、実施した。	モニター園・校に協力いただいたことで、各年齢の特徴をつかんだプログラムを作成、実施できた。実物を見ることで、昆虫の体のつくりがより具体的に理解でき、生物を愛護する態度も育まれたと思われる。

イ 出張プログラム

5種のプログラムを実施し、3動物園で8,039名（前年度比+5,650名）の参加がありました。

【主な出張プログラムの評価】

園名	実施内容	評価
よこはま	職業講話については、事前に生徒からの質問を受けることで、その内容を盛り込んだ内容で実施すると共に、オンラインでの対応も可能とした。	オンライン対応を可能としたことで、学校側がコロナの流行状況に左右されず学習計画を立てられた。安定的な学習の機会を設けることで、生徒が自身の進路を主体的に選択するための貴重な機会になったとの声があった。
野毛山	「かんさつ名人になろう！」について、コロナや夏・冬の実施できない期間はオンラインでつなぎ、小動物観察を実施した。また、出張時は、コロナ対応での触れ合わない形式の観察プログラムに変更した。	オンライン版では、児童が同じポイントを同時に観察することができた。また、それぞれのクラスの興味に合わせた観察を実施できた。児童の反応も良く、教員からもプログラム実施後も児童が興味深く話題にしていたと報告があった。

金沢	国語の教科書「どうぶつ園のじゅうい」の著者である職員が出演する DVD を新規作成し、DVD の貸出しと合わせてオンラインでの質疑応答を実施した。	出張や対面対応ができない期間も学習を止めることなく実施できた。また著者本人が DVD 出演することで、先生や子どもたちの興味関心を引き出した。
----	---	---

② 学校等と作り上げるプログラム

学校等と連携したプログラムを実施し、3動物園で2,427名（前年度比+1,236名）の参加がありました。

【主な連携授業への評価】

園名	実施内容	評価
よこはま	グループに分かれて飼育員の話聞き、感じたことをポスターで発表する学習プログラムを実施した。	児童が自ら考えた質問をし、ポスターにまとめることにより、飼育員の仕事や動物に対する理解が深まった。
野毛山	毎回テーマをもって園内を見学し、授業の集大成として3月に生徒が考えた来園者向けのクイズ10種類を動物の展示場前に掲示した。	授業終了後に届いた児童からの手紙には、職員が学習に協力してくれたことへの感謝の言葉と学習して知った動物のこと、動物が好きになったことなどが書かれており、動物の生態等を学ぶ学習につなげることができた。
金沢	小5国語に合わせたプログラム「固有種がおしえてくれること」を学校と連携して新規に実施した。	学校の学習に合わせた内容の具体例を挙げることができ、固有種についての理解を深めることができた。好評だったため、令和4年度中に来園プログラム(定例プログラム)にする予定。

③ 小動物ふれあいプログラム（野毛山）

野毛山動物園では、コロナ対応として令和2年度に開発と試行実施した「小動物かんさつプログラム」を繁忙期の10月15日から3月31日まで実施し、744名（前年度比+96名）の参加がありました。

4 動物の飼育管理

(1) 飼育現場での取組

世界の野生動物の現状への理解を深めてもらえるよう、動物の生態や健康維持、動物福祉（アニマルウェルフェア）に配慮した飼育管理に取り組みました。

飼料となる青草、ユーカリなどの栽培・生産については、市内生産農家等に依頼し、安定的な供給の確保を図るとともに、地域の活性化に取り組みました。

① 動物福祉（生活の質）向上のための取組

3園で飼育する動物に対して、科学的な根拠に基づき、3園における良好な動物福祉を最大限に高める取組を推進しました。また、動物福祉への職員の理解を深めるため、Wild Welfare が主催するオンラインセミナーを飼育展示係職員全員が受講しました。（P. 7 参照）

ア エンリッチメントの取組

飼育動物の多様な行動を引き出す飼育環境改善(エンリッチメント)の取組にあたっては、計画シートの作成、効果検証を行い、良好な動物福祉を確保し、高めていきました。

【主なエンリッチメントの取組】

園名	取組概要	効果
よこはま	ホッキョクグマ本来の能力、行動を誘発するため、餌の種類の変更、給餌法の変更、遊具の導入等を実施し、帝京科学大学との共同研究により行動量の変化を測定した。	行動量の増加が見られ、動物福祉向上に一定の効果があることが認められるとともに、データとして記録を残すことができた。
野毛山	チンパンジーの行動量を増加させるため、チンパンジー展示場及び寝室へ、消防ホースとハンモックを増設した。	狭いながらも空間利用できる範囲が拡充した事に伴い行動範囲及び量が増えたと共に本来の行動を誘引することが出来た。特にミラクルとコウタロウ親子では効果が顕著であった。
金沢	夜間の常同行動を減少させるため、インドゾウ舎夜間自動給餌用ベルトコンベアーを設置した。	夜間の採食時間や探索行動が増加し、常同行動の減少につながった。

イ ハズバンダリートレーニングの取組

無麻酔での採血等、動物福祉に配慮した健康管理(ハズバンダリートレーニング)の取組にあたっては、計画シートの作成、効果検証を行い、良好な動物福祉を確保し、高めていきました。

【主なトレーニングの取組】

園名	取組概要	効果
よこはま	レッサーパンダにおいて、無保定下でのエコー検査を行えるようにトレーニングした。	ストレスのない状況下でエコー検査による妊娠判定を行えた。
野毛山	キリンの無麻酔での投薬を想定し、筋肉・静脈注射のトレーニングを行った。	針刺し脱感作訓練は順調に進み、健康に無害な生理食塩水を筋肉内へ注射しても柵越しで姿勢を保持できるようになった。
金沢	オカピにおいて、無麻酔で削蹄が行えるようトレーニングした。	ストレスが少ない状況下で削蹄が行えるようになった。

ウ 老齢個体に配慮した飼育管理の取組

老齢個体の飼育管理については、動物のQOL(Quality of life)を第一に考え取り組みました。

【主な老齢個体に配慮した取組】

園名	取組概要
よこはま	足腰が弱ったインドライオンの寝室におが粉を敷き詰め、スリップ防止や保温を行える環境を整えた。老衰による死亡前日まで自力歩行及び採食がみられた。

野毛山	レッサーパンダ展示場の老朽化した止まり木等を撤去し、新たに擬木2本の設置と止まり木を新調し、老齢個体でも移動が容易にできるよう改善した。
金沢	足腰が衰えたヒツジにグルコサミンを投与することによる歩様改善、転倒防止のため床材の工夫を行った。

② 飼育現場での努力や意識向上に資する取組

ア 動物舎の維持管理

動物舎及び展示場の管理は、日常的に施設の安全点検を行い、小破修繕を適宜実施しました。また、施設の長寿命化計画に準拠し、共通のフォーマットを用いて統一的に管理し、市に報告しました。

さらに、現場の創意工夫により、展示の魅力向上に取り組みました。

【主な展示の魅力向上】

園名	概要	効果
よこはま	ニホンザル展示場の止まり木の交換及び擬木化とロープやハンモックの新設。	止まり木の長寿命化や動物の行動量増加の効果が得られた。
	テングザル展示場の止まり木交換及び台座の設置。	動物の行動量が増加し、来園者から見やすい位置で動物が採餌等を行うようになった。
野毛山	ツキノワグマ展示場の格子上部へのフィーダーの設置。	採食にかかる時間が増え、行動していない時間が減少した。
	フサオマキザル展示場へのロープや遊具の設置。	行動範囲が増えたことによって、劣位の個体の優位な個体からの逃避が容易となると共に、来園者からの観察ポイントが増えた。
金沢	カピバラ水浴場の改修。	利用できるスペースが広くなり、動物の福祉向上と共にお客様からもよくご覧いただけるようになった。
	ヤギ展示場の木製橋の改修。	お客様がヤギを近くでご覧いただける休憩場所を設けることができた。

イ 動物園水族館事業、博物館事業への貢献

WAZA、日動水、神奈川県博物館協会の加盟団体として、当該団体の役割の一翼を担うことで、国内外における動物園水族館事業、博物館事業の推進に貢献しました。

団体	役割
WAZA	【新任】動物倫理福祉委員会 委員
日動水	総務委員会 倫理福祉部員
	教育普及委員会 委員長 及び 普及啓発部員
	生物多様性委員会 種別計画管理者等 (P. 31 参照)
神奈川県博物館協会	理事
	自然科学部会 幹事

ウ SDGs への貢献

環境負荷の低減に向けた取組として、動物の飼育管理を通じたSDGsへの貢献を進めました。

【動物の飼育管理を通じたSDGsへの取組】

園名	取組概要
3動物園	・B級品の青果や園内で発生した剪定枝を飼料に活用
よこはま・金沢	・コーヒー滓（かす）の床材利用
金沢	・ゾウ糞のたい肥化と市内公園での活用 ・保全管理計画に基づき、園地の樹木を台切りし萌芽更新を図るとともに、新芽の一部は動物の餌にも活用

エ 職員の努力

動物園の役割を果たすため、職員一人一人が各種の工夫・努力を行いました。

【職員が取り組んだ主な努力】

園名	取組概要
よこはま	<ul style="list-style-type: none"> ・日動水主催の飼育技術者研究会において、「ツシマヤマネコの人工授精」の発表でベストプレゼンター賞を受賞した。 ・ペアの組み換え等を行うことで、2年連続で自然繁殖によりカムリセイランの雛が誕生した。 ・園内の生物調査を行うため、新たに生物調査プロジェクトを立ち上げた。
野毛山	<ul style="list-style-type: none"> ・動物福祉と感染症対策に配慮した小動物ふれあいプログラムの検討を行い、職員向けの試行を行った。 ・チンパンジーピーコさんの来園55周年を記念し、来園記念日の200日前からTwitterでピーコさんの日常や歴史について、30回にわたり情報発信した。 ・よこはま動物園で着手したテングザルの研究を職場を異動後も、論文執筆に取り組み学術誌（Animal Science Journal）に掲載された。
金沢	<ul style="list-style-type: none"> ・園内樹林地の保全活動推進チームを立ち上げ、保全管理計画に基づく竹林の整備や、雑木林の再生に向けた下刈り、土留め、播種を実施し、それらの継続的な維持管理を、教育プログラムに活用できるよう環境整備を行った。 ・令和2年度の敢闘賞に続き「エンリッチメント大賞」奨励賞を受賞した。 ・身近な生き物を守るため、ホテルの生息調査、ふくろうの巣箱設置等を行った。

③ 計画的な繁殖管理

WAZA や JAZA 等の繁殖計画、動物の生態、当団体に蓄積された記録等を参照した上で、ペアリングや動物収集等の繁殖計画を立案しました。

【主な繁殖動物】※は重点保全種

よこはま		野毛山		金沢	
種名	点数	種名	点数	種名	点数
アカアシドクラングール※	2	オグロワラビー	1	オオツノヒツジ	1
テングザル※	2	アカエリマキキツネザル	2	スーチョワンバーラル	3
マレーバク※	1	フサオマキザル	1	キリン	1
エランド	1	インドクジャク	2	アマミトゲネズミ※	5
キリン	1	ヘサキリクガメ※	5	ツチガエル※	160
フンボルトペンギン	1	ホウシャガメ※	3	ミヤコタナゴ※	25
カムリセイラン※	4	ミヤコタナゴ※	104	ホトケドジョウ※	94
7種 12点		7種 118点		7種 289点	

④ 動物の適切な管理

ア 防疫・衛生管理

飼育員と獣医師が密に連携し、疾病の予防に取り組むことを基本とし、日々の細かな観察及び専門的な知識と蓄積された経験に基づき、早期発見・早期治療による健康管理を行いました。治療にあたっては、最先端の獣医療情報を提供するオンデマンドサービスを活用することで、日々の外科的な処置等に役立てました。防疫面でも引き続き、コロナ、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱の感染防止に努めました。

【顕著な症例への対応】

園名	概要	効果
よこはま	ピグミーゴートの尿路閉塞に対し、バルーンカテーテル処置を実施。	通常の排尿行動を行えるまで回復させた。
金沢	アマミトゲネズミの難治性皮膚炎の治療。	新規導入種で初めての症例だったが、他園館からの助言を受けながら治癒に成功した。

イ 3園一体運営を活かした飼育管理

野毛山動物園の動物舎工事にあたっては、オグロワラビーをよこはま動物園で一時的に預かりました。また、フンボルトペンギンの動物福祉に配慮した新規ペア形成のため、よこはま動物園から野毛山動物園へ個体移動を行いました。

(2) 保全に貢献する取組

① 世界的に評価され得るといえる域外保全への取組

よこはま動物園では、前年度にツシマヤマネコの人工授精による繁殖が国内ではじめて成功しましたが、得られた子は人工哺育により順調に生育し、ツシマヤマネコの域外保全の取組を前進させることができました。

② 日動水等、国内外の機関や施設と連携した保全への取組

当団体が多くの実績や技術を有する種については、率先して国内外の動物園関係団体との連携を図り、保全に努めました。また、日動水の生物多様性委員会等他の役割を担うことで、国内での保護・繁殖に積極的に携わりました。

【役割一覧】

		役割	動物種等
国内	日動水生物多様性委員会	類別調整者	食肉類(副類別調整者)
		種別計画管理者	シロテテナガザル、ユーラシアカワウソ、マレーバク、インドサイ、ブラジルバク
		個体群管理者	オオカンガルー、ヤブイヌ、アラビアオリックス、ベアードバク、ハミルトンガメ、インドセタカガメ
		専門技術員	コアラ、フランソワルトン、スマトラトラ、ツシマヤマネコ、アジアゾウ、クロサイ、グレビーシマウマ、ニホンカモシカ、ハウシャガメ
国外	国際ワーキンググループ※ 参加	ヘサキリクガメ	

※主要な国際保全組織に所属するカメの専門家が結成する組織横断的なグループ。CITES(ワシントン条約) や CBS(生物多様性保全)等に助言や勧告を行う。

また、引き続き連携協定を締結した海外の団体や動物園等との情報交換等を進めました。

項目	主な取組
台北市立動物園との連携	覚書に基づき、マレーバクの導入について調整を行いました。
タイ王立動物園機構(ZPO)との連携	覚書に基づき、ドックラングールの個体交換について調整を行いました。
WAZA との連携	WAZA の会員として、年次総会へ参加して情報共有に努めるほか、WAZA の種管理計画に協力して、野生動物保全に努めました。

③ 域内保全と連携した取組

日動水が環境省と締結した「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」に基づき、ツシマヤマネコ、ミヤコカナヘビ、トゲネズミ類の飼育・繁殖技術の確立を目指し、動物園での保全活動を行いました。

【域内保全と連携した主な取組】

項目	動物種(園名)	主な取組
環境省の保護増殖事業への協力	ツシマヤマネコ (よこはま)	人工繁殖に取り組むとともに、繁殖生理・栄養に関するデータ収集を行った。
	ニホンライチョウ (よこはま・金沢)	繁殖センターの取組に協力するため、人工採精の技術提供を行った(よ)。また近似種のスバルライチョウのペアリングに取り組んだ(金)。
	ミヤコカナヘビ (野毛山)	飼育下繁殖技術の向上及び科学的知見の集積へ協力した。
環境省のトゲネズミ類生息域外保全事業への協力	アマミトゲネズミ (金沢)	飼育下繁殖技術確立に取り組んだ。
身近な野生動物の保全	ミゾゴイ(金沢)	繁殖センターと連携し野生復帰に向けたケージ整備等を開始した。
	ミヤコタナゴ (野毛山・金沢)	横浜市教育委員会が主導するミヤコタナゴ保護育成検討会主催の個体数調査及びかいぼり等、関係機関と連携し保全活動に取り組んだ。
	ミナミメダカ・ホトケドジョウ (横浜産) (野毛山・金沢)	水系別にそれぞれの園で繁殖に取り組んだ。
	ツチガエル(金沢)	繁殖センターと連携して繁殖に取り組んだ。
	ヤマアカガエル (よこはま・金沢)	園内での生息調査を実施した。
域内保全活動事業	オカピ (よこはま・金沢)	現地で活動するオカピ保全プロジェクトへ支援金を送付すると共に、世界オカピの日に合わせて普及活動に取り組んだ。
インドネシア政府との保護協定	テングザル (よこはま)	引き続き1年間の飼育委任覚書の締結を調整し、原契約の更新についても調整を継続した。
希少植物の保全	エビネ(金沢)	下草や倒木を片付け環境を整備した。

④ 傷病鳥獣保護

ケガや病気により救護された野生鳥獣(鳥類・哺乳類)を治療し、野生に戻す取組を行うとともに、ブログ、SNS等で野生動物の現状を紹介しました。保護された種類別にみるとシジュウカラ、ツバメ、メジロ、ホンドタヌキの増加が目立ちました。

※11月1日～3月31日の間、3園では横浜市からの指示に基づき、コロナ拡大防止及び鳥インフルエンザ防疫対応のため、傷病鳥の受入を中止。

※6月1日～1月4日の間、野毛山動物園では、横浜市による動物病院一部改修工事のため、傷病鳥獣の受入を中止。

【傷病鳥獣保護点数】

園名	点数	
	令和3年度	前年度比
よこはま	212点	+54点
野毛山	44点	-61点
金沢	346点	+54点
計	602点	+47点

⑤ 保全のための人材育成に向けた取組

ア 職員の育成

金沢動物園では、雑木林再生に向けた竹林整備やヤマアカガエルの産卵地整備を職員で行うとともに、ミゾゴイの生息調査や観音崎自然博物館スタッフとのフィールドワーク等を通じて保全意識の向上を図りました。

また、3動物園では、ツシマヤマネコ等、環境省の保護増殖事業に参加するとともに、よこはま動物園園長による講座、SDGs研修等を通じて職員の保全意識向上に努めました。

イ お客様の保全意識向上に向けた取組

講演会やセミナー、パネル展示を実施するとともに、一部はその効果についてもアンケート等を行うことで評価しました。

【主な取組と評価】 ※評価したプログラムは、⇒以降で記載

(ア) 複数園

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
世界キリンの日(よこはま、野毛山)	キリンの野生での現状や動物園での取組についてパネルで紹介し、SNSでの動画配信等を実施。 ⇒野毛山:Twitterで「キリンの首の骨が人間と同じ数だとは知りませんでした。あんなに長いのに。」等のコメントがあった。視聴回数3,995回(4/15現在)	よ:6月16日～30日 野:6月17日～7月31日	—
世界オカピの日(よこはま、金沢)	野生のオカピの現状や生態について紹介するパネル展を実施したほか、動物園で飼育しているオカピのこと、野生のオカピの現状とその保全のための活動を学ぶオンラインシンポジウムを実施。 ⇒オカピの保護だけでなく、その地域との関係性もとても重要であることなど、現地の人々の生活を守ることが動物を守ることだと感じた方が多かった。	よ:10月17日～24日、金:10月18日～31日 シンポジウム:1月30日	シンポジウム参加者:84

公開飼育研究会	3園と横浜市繁殖センターで行っている調査研究の成果について、各施設1題づつ発表。(動画配信で実施)	3月11日～	—
---------	---	--------	---

(イ) よこはま

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
ズーラシースクール	小学6年生を対象に、連続講座を通して、動物や人、環境について考える総合力を養うことを目的とした企画を実施。 ⇒動物を見るだけだったのが、動物の特徴や生息地での状況に目を向けるようになった、等のコメントがあった。	10月～3月 毎月1回実施	15
ツシマヤマネコ赤ちゃん写真展・動画放映	国内初の人工授精で誕生した赤ちゃんの成長や野生のツシマヤマネコの状況等を紹介。	4月19日～6月7日、10月1日～10月31日	—
世界カワウソの日	カワウソについて学べるパネル展示を実施。	5月26日～31日	—
海の生き物SOS展	海のゴミが野生動物に与える影響等を紹介する企画展や講演会を実施。 ⇒海に流れ出たプラスチックごみが巡り巡って自分に返ってくることを知ることができ、海の生き物だけでなく、自分自身のためにプラスチックごみを減らしていこうと思った、等のコメントがあった。	6月2日～8月30日 講演会:7月22日	講演会参加者:31
【新規】WONDER DOORS 地球のマンダラ★ワンダーズ「ツシマヤマネコ漫談紀行」	ツシマヤマネコの生息地、対馬の現状に関心を寄せ、SDGsについて考える企画をオンライン(動画配信)にて実施。 ⇒ツシマヤマネコ域外保全の必要性、重要性とその難しさ、生息地での住民生活の利便性や経済発展の方向などの難しさを考えさせられた、等のコメントがあった。	12月25日、1月22日、2月19日	12月25日:34、1月22日:17、2月19日:13

(ウ) 野毛山

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
世界アライグマの日	アライグマにまつわる「音」に注目した動画を作成し、YouTubeで動画配信。	11月29日～	—
国際シマウマの日	SNSで動画を配信。 ⇒Twitterで「シマウマはわりとどこの動物園にもいるお馴染みさんだと思ってましたが絶滅の危機というのを全く知らなかったし、まさかという思いです。」等のコメントがあった。視聴回数7,234回(4/15現在)	1月31日～	—

野毛山動物園セミナー 2022「トラのいない動物園」	スマートトラの域外保全について日動水スマートトラ種別計画管理者、飼育担当者より動物園の役割等の講演をオンラインで実施した。 ⇒トラの個体について詳しい話が聞けたこと等に対する感謝のコメントが見られた。また、トラの保全のため環境を守るなどについて行動宣言していただき園内に掲示した。	2月26日	48
第14回動物たちのSOS展～守ろう生物多様性～	園内各所に掲示した絶滅危惧種等のパネル展を巡りキーワードを集めながら、動物たちのSOSを知り、SDGsの達成を参加者と一緒に考えていけるクイズラリーを2日間実施した。 ⇒クイズラリーをゴールした491名に行動宣言を対話で聞き取りしたところ、動物を大切にするという言葉を中心に、保全、環境、保護、守るという発話があった。	3月1日～31日 クイズラリー実施：3月5日、6日	クイズラリー参加者：726

(エ) 金沢

プログラム名	取組概要と評価	実施日	参加人数
ののほな館企画展「みちかな森と生きもの暮らし森展」	森の循環と、近隣の森で起きているナラ枯れの状況の紹介。	(11月21日)～6月6日	—
【新規】Save the animals～わたしたちの仲間が減っている	絶滅危惧種に関するクイズやパネル展を実施。 ⇒来園者インタビューの結果、「野生動物保護活動の情報発信をしている」と評価した人は58%と高値だった。しかし、展示パネルの存在には気づいている(90%)ものの、その内容まで覚えている人は30%程度だったため、今後はパネル内容の改善やデザインの工夫を行っていく。	4月29日～5月5日	—
「身近ないきものを知ろう」	身近な生きものとその生息環境について、わかりやすく学べる企画を実施。⇒来園者インタビューの結果、「野生動物保護活動の情報発信をしている」と思った人は88%と高値だった。しかし、展示パネルの存在には気づいている(80%)ものの、その内容まで覚えている人は30%程度だった。全く気付かれていない企画もあったため、今後は内容・設置場所の改善やデザインの工夫を行っていく。	7月20日～8月29日	—
世界ゾウの日	野生のゾウの現状や生態、保全活動について紹介するパネル展示を実施	8月1日～8月31日	—
世界サイの日	野生のサイの現状や生態について紹介するパネル展を実施	9月10日～30日	—
Zoo to Wild Fes Autumn～身近な自	環境保全(特に人と自然の関りについて)をテーマに、市内の環境保全団体等と協働した体験や展示を実施。	10月9日、10日	—

然に触れて みよう			
国際テナガザ ルの日	野生のテナガザルの現状や生態について紹介する パネル展を実施。	10月23日、 24日	—
Zoo to Wild セミナー「ゾウ オロジー～ゾ ウが教えてく れたこと～」	ゾウをテーマに、野生動物保護や地球環境保全等を 学ぶ講演会と動物観察会を実施。⇒参加者アンケート では、ゾウの「心」「知能」についての記載が多く見ら れ、動物の感情や精神といった動物福祉に関連する 知見も普及することができた。	10月30日	23
Zoo to Wild Fes Spring～ 楽しく学ぶ SDGs	近隣企業に出展を依頼しSDGsの取組について紹介 していただくとともに、クイズやパネル展示でわかりや すくSDGsを普及するイベントを開催。	3月19日～ 21日	—

その他、一般来園者を対象とした教育プログラムは、以下の6種をコロナの状況を
みながら実施しました。

園名	プログラム名	概要
3 園	動物ガイド	飼育員による動物の生態・行動に関するガイドを実施。 ・とっておきタイム（よこはま） ・お食事タイム（野毛山） ・わくわくタイム（金沢） 等
よ こ は ま	ガイドツアー	コロナのため中止した飼料室を見学するガイドツアーの代替プロ グラムとして、バックヤードに立ち入らずに、餌から動物につい て学ぶプログラム「動物園の台所」を実施した他、動物の解説を 聞ける特別な園内案内（ウォーキングツアー）を実施。
	ズーラシアどう ぶつ教室	動物たちの裏話や動物に関連するクイズや工作等、楽しく参加し ていただけるワークショップや講座の実施。ツシマヤマネコ人工 授精成功に合わせ、その成果を大人向けに紹介する講座も実施。
	アフリカの サバンナでの 体験活動	動物のふれあいを中心とした体験活動（バードショー、ピグミー ゴートとのふれあい）の実施。※ピグミーゴートとのふれあいは 中止
野 毛 山	ガイドツアー	コロナ禍のため未実施。代替えとして「動物病院ガイドツアー」 と「動物園の台所ツアー」の動画を配信。
金 沢	ののはな教室	園内の自然をテーマにしたクラフトの製作等を実施。

（3）調査・研究等に対する取組

大学や研究機関と協力して動物に対する科学的な知識を深め、その情報を多くの
の方々と共有し、野生動物の保全に貢献しました。

① 日本をリードする取組

よこはま動物園で、国内初の成功例となったツシマヤマネコの人工授精による繁殖の成果について、動物に関する総合学術誌「Animals」に掲載され、全世界へ成果を共有するとともに、様々な研究会等で発表しました。また、8月7日付け日経新聞の専門家が選出する「保護や研究 応援したい動物園」ランキングにおいて先駆的な取組を行っている動物園として、よこはま動物園が1位を獲得しました。

② 大学等外部機関、繁殖センターとの積極的な連携

大学や研究機関等との共同研究を通じて、効果的な研究を進めることができるよう取り組みました。特に、金沢動物園のインドゾウ舎では、日本大学と夜間の常同行動の減少を目的に、夜間自動給餌を行うベルトコンベアーを設置しその効果を測定しました。高所に設置した餌箱に追加給餌されることで、採食時間だけではなく、探索行動が劇的に増加し、常同行動が減少したことが確認されました。

【共同研究件数】

園名	大学等外部機関との研究件数（前年度比）	繁殖センターとの研究件数（前年度比）
よこはま	15件（±0件）	13件（±0件）
野毛山	8件（-1件）	2件（-1件）
金沢	17件（+3件）	3件（±0件）
計	40件（+2件）	18件（-1件）

【大学等外部機関との主な共同研究テーマ】

園名	相手方	テーマ
よこはま	日本大学	飼育下オカピの施設間移動が個体に与える影響について
	東京農工大学	ユーラシアカワウソの飼育技術向上を目的とした腸内細菌叢の研究
野毛山	近畿大学	学習者の能動的な生命概念構築を支援する持続可能性に向けた動物園教育のデザインと評価
	酪農学園大学	動物園飼育爬虫類におけるサルモネラおよびエルシニア属細菌保有状況
金沢	日本大学	飼育下オオツノヒツジを対象とした展示場の違いによる行動比較
	鶴見大学	金沢動物園におけるヤマアカガエルの産卵数の確認調査

【繁殖センターとの主な共同研究テーマ】

園名	相手方	テーマ
よこはま	繁殖センター	ツシマヤマネコ人工繁殖に関する研究（北海道大学も連携）
	岐阜大学	オカピの糞中性ステロイドホルモンの測定
野毛山	繁殖センター	キリンの性ステロイドホルモンの測定
	岐阜大学	カメ類の親子判定
金沢	繁殖センター	アカハライモリの遺伝的多様性解析
		糞中ホルモン測定によるニホンカモシカの妊娠判定

③ 研究発表・論文投稿

調査・研究で得られた成果等を3園の職員間で共有するため、動物園研究会を各園で開催し、その成果を動物園研究会報として発行しました。また、顕著な成果については、学会等での発表や論文投稿を行いました。※動物園研究会の実績については、参考資料P.51～53参照

【口頭発表・論文投稿件数】

園名	口頭発表件数（前年度比）	投稿記事、論文投稿件数（前年度比）
よこはま	12件（+12件）	4件（+3件）
野毛山	6件（+4件）	2件（+2件）
金沢	10件（+6件）	2件（-1件）
計	28件（+22件）	8件（+4件）

【口頭発表のテーマ例】

園名	発表先	テーマ
よこはま	第69回日動水動物園技術者研究会（オンライン）	ツシマヤマネコにおける人工授精の取組について
	第62回日本動物園水族館教育研究会（オンライン）	動物園におけるSDGs啓発の取組～海洋プラスチック問題を題材とした講演会の実施～
野毛山	日動水関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会（オンライン）	ソーシャルネットワーキングサービスの活用とその評価
	日本学術振興会科学研究費共同研究成果報告シンポジウム（オンライン）	ふれあい動物を介在した教育プログラムの評価 出張動物園スクール「かんさつ名人になろう！」の再構築とその応用
金沢	令和2年度日動水技術表彰受賞記念講演（オンライン）	初期の人工哺乳から自然哺乳への切り替えに成功したオオツノヒツジの一例
	第69回日動水動物園技術者研究会（オンライン）	インドサイの相互BLによる移動について

【投稿記事・論文発表テーマ】

園名	発表先	テーマ
よこはま	日本動物園水族館雑誌(未掲載)	腰椎骨折のホンダタヌキに対しエポキシパテを用いた創外固定による治療の一例
	神奈川県博物館協会会報93号	展示は何を伝えているのか～ズーラシアの展示を評価する～
	科学教育研究 Vol.45, No.3	チーターランが展示観覧者に及ぼす影響および観覧動機、継続的観覧要因の探索—展示観覧経験と満足度、観覧意欲、観覧回数との関連に着目して—
	Animals 12(6)	Successful Laparoscopic Oviductal Artificial Insemination in the Endangered Tsushima Leopard Cat (<i>Prionailurus bengalensis euptilurus</i>) 絶滅の危機に瀕するツシマヤマネコの腹腔鏡下卵管人工授精の成功について

野毛山	Animal Science Journal, 92(1)e13612, 2021	Analysis of fecal nutrients and particle size in captive proboscis monkeys (<i>Nasalis larvatus</i>) fed seasonal dietary foliage at a Japanese zoo 日本の動物園で季節的な木の葉を食べる飼育下テングザルの糞便栄養素とその粒子径の解析
	神奈川県立図書館「郷土神奈川」	野毛山動物園開園七十周年を迎えて
金沢	モンキー6巻1号: 20-21 (2021)	動物園で実施したチンパンジーを題材にした教育プログラムから見るSDGs
	Current Herpetology 41 (1), 132-137, (24 February 2022	Phylogenetic Origins of a Newly Found Japanese Red-Bellied Newt Population in Yokohama City and Other Populations in Kanagawa Prefecture 神奈川県横浜市で新たに発見されたアカハライモリ個体群の系統学的起源

④ 研究成果の市民、来園者等への積極的な発表や還元

3動物園が毎月実施する動物園研究会の発表成果の中から、公開飼育研究会として動画配信で一般公開しました。また、東京農業大学や日本獣医生命科学大学では、学生を対象とした動物園の役割等の講演を行いました。

年間の各園における研究成果をまとめた動物園研究会報は、職員へ共有するとともに、日動水加盟の他動物園へも送付しました。これらの調査研究により得られた成果は、飼育、繁殖、予防医学等に役立てました。

5 施設等の維持管理

(1) 施設及び設備の維持管理

管理体制の整備や情報共有の強化、作業計画やマニュアル類の整備等を推進し、園内施設の仕様を十分に理解した維持管理業務を実施しました。

修繕は、劣化状況を確認するとともに施設全体の状況を考慮し、最適な修繕方法を検討・実施しました。過去の修繕状況を把握し、計画的に維持管理を行うことで施設・設備の長寿命化を図りました。今年度は特に、給湯器などについて省エネ・省資源設備への更新を積極的に実施しました。そのほか非常時に備えた取組として、水道の給水系統図の作成や大型発電機の配備等を実施しました。また、手すりや看板、ベンチの再塗装・更新など、利用者が安全・安心・快適に過ごせるような維持管理を積極的に行いました。

【主な取組】

園名	主な取組
よこはま	獣舎内給湯器の更新、園内上水・工水の給水系統図作成
野毛山	ワラビー・シカ舎他各所手すり再塗装、なかよし広場カラス避けネット改修、クランク橋デッキ板の取替
金沢	にこにこゲート他再塗装、ゾウ舎への大型発電機配備、ベンチ・テーブルの更新

① 各園と関係部署が連携した維持管理体制を確立

引き続き、「安全・安心の確保」を維持管理の最優先とし、各園、当団体本部の関係部署が組織的に取り組む体制を継続しました。

- ② 維持管理計画（修繕計画含む）に基づく計画的な業務
各園の維持管理実施計画に基づき計画的に業務を遂行しました。

【修繕作業・工事実施実績】

園名	件数	
	令和3年度	前年度比
よこはま	232件	+112件
野毛山	71件	+16件
金沢	140件	+90件
計	443件	+218件

- ③ 高水準な維持管理を確保するマニュアルの整備
公園施設点検マニュアル等、各種マニュアルを定期的に改訂作成し、確実に業務を履行する事で高水準な維持管理を行いました。

- ④ コスト削減を可能にする維持管理

安全・安心とサービス水準の確保を前提に、大規模修繕につながらないよう保守点検やこまめな修繕を重ねることでコスト削減に取り組みました。

【主な修繕実績】

園名	主な修繕
よこはま	チンパンジー展示場擬木修繕、インドゾウ舎天窓修繕、中央管理棟ほか非常用照明器具修繕、オカ舎監視カメラ他修繕、展示場手すり・ベンチ修繕
野毛山	キリン舎遠赤外線暖房修繕、園内スピーカー修繕、トイレ手洗い自動水栓修繕、クランク橋デッキ板・手すり修繕
金沢	キリン・クロサイ展示場擬岩修繕、ローラー滑り台修繕、オリックス舎天窓修繕、わくわく広場不陸修繕、自然公園手すり塗裝修繕

(2) 園地及び遊具等の維持管理

安全・安心・快適で、憩いと安らぎを提供する場として、植物等を活かした魅力づくりを行い、また、生物多様性を守り、市民が自然に親しみ知識を深められるよう高水準な維持管理を行い、各園の魅力を高めました。

特にナラ枯れについては、拡散防止及び利用者の安全確保のため、枯損木の適切な処理を重点的に実施しました。

【主な取組】

園名	概要
よこはま	チンパンジー展示場等の高木剪定、日本の山里四ツ目垣更新
野毛山	バラ園の補植、外周部の低木補植
金沢	遊具修繕、高木剪定、草地の維持管理水準見直し

- ① マニュアル等による高水準な維持管理の確保

各種マニュアルの整備等により高水準な維持管理を確保しました。また、市内造園業者60社以上が加盟する官公需適格組合「横浜市グリーン事業協同組合」との連携により、技術力と機動力をいかした効果的・効率的な維持管理を行いました。

② 快適な園地環境の提供

清掃業務を適切に実施しました。また、調整池・修景池、園路・広場、トイレ等を機能を損なうことなく、ゴミのない快適な空間を維持するよう、適正管理しました。老朽化した施設には修繕を行い、特に看板等の案内機能の修繕を図りました。

③ 植栽等の育成管理

植栽の管理方法やポイントを定めた「植栽マニュアル」や、「植物年間作業計画」により、作業漏れやミスを防止するとともに、高水準な植栽管理を実現しました。金沢自然公園保全管理計画に基づき、動植物の生育調査を重点的に行いました。

また、サクラ、マツ、ナラ類等の病虫害発生や生育障害をできる限り防止しました。なお、作業にあたっては、騒音等により飼育動物に影響を及ぼすことのないように最大限配慮するほか、市の「公園緑地等維持業務共通仕様書」に準拠した、適正な図面・作業記録の作成・保管を行いました。

④ 遊具施設の維持管理

遊具は、危険箇所はないか、故障・不具合が発生していないか、または発生するおそれがある箇所はないか等、安全面に十分配慮し、毎月の点検を実施しました。

また、公園施設製品安全管理士による遊具詳細点検も実施し、指摘箇所は横浜市と協議し、早急に対応し点検結果はすみやかに市へ報告しました。

(3) 施設及び設備等の安全対策

来園者の安全・安心の利用環境を提供するため、施設・設備の保守点検等を適切に実施しました。

【点検実施実績】

園名	点検名	実施回数等
3園	日常点検	毎開園日
	定期点検	年4回
	法定点検	設備に応じた点検頻度
	臨時点検・緊急点検	適宜

① 施設及び設備等の安全対策の基本的な考え方

不具合の未然防止・早期発見のため、公園施設点検マニュアルを整備し、これに基づく点検を実施しました。

② 施設の安全対策

安全性と快適性を特に重視し、維持管理を実施しました。

定期点検は、「公園施設点検チェックシート」を使用して実施し、結果を市に報告しました。

6 管理運営経費

(1) 算定の考え方

以下の通り、管理運営経費の削減と収入の増加に取り組みました。

① 収入増加の取組

各種広報、地域連携活動やイベントの実施により、積極的に集客対策に取り組みました（P. 14～15、21～24 参照）。

コロナで企業活動が厳しくなる中、よこはま動物園は7社、野毛山動物園は2社、金沢動物園は1社と継続して協賛契約を締結しました。

また、動物の飼育環境改善や園内施設改修に充てる費用として、アニマルペアレント制度や野毛山動物園募金、クラウドファンディング等外部資金を調達しました（P. 17～19 参照）。

このほか、3動物園の飲食・物販店運営事業者と連携し、野毛山動物園の開園70周年、金沢動物園の開園40周年を記念したメニュー・商品の開発を行ったほか、コロナによる飲食店の座席数削減を補うため、回転率向上のためのクイックメニューやキッチンカー等の外売りを強化し、収入を確保しました。

② 経費削減の取組

3動物園一体での共同発注を行い、経費の削減に取り組みました。

新たに、よこはま動物園内ばかばか広場と万騎が原ちびっこ動物園の管理委託を共同発注にする等、発注方法や契約内容の見直しにより効率化を図りました。

なお、3動物園においてコロナ対策のために必要となった経費については、文化庁による「文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業（補助金）」に応募し助成金を受けたほか、よこはま動物園における入園者数制限のための予約制の導入にあたっては、KDDI（株）よりシステムの無償提供を受けることで（P. 16 参照）、管理運営経費の節減に努めました。

【主な3動物園共同発注】

園地管理業務委託	動物飼料の購入	消耗品の購入
園内清掃業務委託	施設賠償責任保険	フロアマット交換業務委託
警備・窓口業務委託	自動車任意保険	利用者アンケート集計・分析委託
消臭芳香器交換業務委託	廃棄物処分業務委託	高圧電力の調達

③ コストバランスへの配慮

コスト削減に取り組む一方、動物園の役割や適切な質を維持するための予算を確保しました。また、動物園の管理運営に必要な物品の調達、業務の委託は、入札または見積合わせにより経費節減に努めるとともに、横浜市中企業振興基本条例を踏まえ、可能な限り市内中小企業に発注しました。

④ 委託による効率化

直営と比較し、専門業者へ委託する方が効果的、効率的と判断された園地管理業務や園内清掃業務、警備・窓口業務等については、委託により実施しました。

正味財産増減計算書内訳表
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位 円)

科 目	科 目					収益事業等合計 経営事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	70,500	70,500	0	0	0	70,500
基本財産受取利息	0	0	0	70,500	70,500	0	0	0	70,500
特定資産運用益	25,948,017	0	3,325	0	25,951,342	175	0	0	25,951,517
特定資産受取利息	25,948,017	0	3,325	0	25,951,342	175	0	0	25,951,517
事業収益	0	1,098,499,533	2,867,442,659	0	3,965,942,192	1,225,721,978	0	0	5,191,664,170
事業収益等	0	1,098,499,533	2,867,442,659	0	3,965,942,192	1,225,721,978	0	0	5,191,664,170
受取補助金等	0	353,333	1,075,000	0	1,428,333	0	0	0	1,428,333
受取国庫補助金	0	0	1,075,000	0	1,075,000	0	0	0	1,075,000
受取補助金等振替額	0	353,333	0	0	353,333	0	0	0	353,333
受取負担金	0	0	0	0	0	50,433	0	0	50,433
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	50,433	0	0	50,433
受取寄付金	6,831,371	1,187,297	19,632,032	0	27,650,700	0	0	0	27,650,700
受取寄付金	6,831,371	978,964	0	0	7,810,335	0	0	0	7,810,335
受取寄付金振替額	0	208,333	19,632,032	0	19,840,365	0	0	0	19,840,365
雑収益	1,165,902	636,079	437,539	0	2,239,520	2,508,127	1,188,030	0	5,935,677
受取利息	2	0	0	0	2	409	0	0	411
雑収益	1,165,900	636,079	437,539	0	2,239,518	2,507,718	1,188,030	0	5,935,266
経常収益計	33,945,290	1,100,676,242	2,888,580,555	70,500	4,023,282,587	1,228,280,713	1,188,030	0	5,252,751,330
(2) 経常費用									
事業費	78,702,463	1,194,246,382	3,076,953,363	0	4,349,902,208	919,550,024			5,269,452,232
役員報酬	252,630	785,960	1,066,660		2,105,250	477,190			2,582,440
役員賞与	40,500	126,000	171,000		337,500	76,500			414,000
給料手当	22,877,401	246,918,204	844,010,948		1,113,806,553	122,677,454			1,236,484,007
賞与引当金繰入額	2,034,430	21,679,506	71,362,693		95,076,629	7,165,617			102,242,246
賞金	3,968,551	181,431,661	53,034,800		238,435,012	55,667,626			294,102,638
退職給付費用	1,319,681	3,717,892	38,452,138		43,489,711	4,468,756			47,958,467
法定福利費	4,646,726	55,483,361	148,913,085		209,043,172	23,561,357			232,604,529
福利厚生費	328,821	5,112,311	6,095,363		11,537,495	898,093			12,435,588
教育研修費	95,255	970,946	1,415,560		2,481,761	232,608			2,714,369
旅費交通費	74,114	1,922,325	1,500,698		3,497,137	697,098			4,194,235
通信運搬費	490,793	6,638,175	5,985,685		13,114,653	2,486,252			15,600,905
減価償却費	171,640	1,989,894	17,977,648		20,139,182	45,582,302			65,731,484
公共施設負担金償却費	0	0	0		0	41,963,432			41,963,432
消耗什器備品費	155,650	3,944,930	6,040,756		10,141,336	0			10,141,336
指定管理対象財産購入費	0	518,991	39,305,629		39,824,620	0			39,824,620
消耗品費	9,451,224	39,136,836	203,072,484		251,660,544	7,483,301			259,143,845
修繕費	1,188	34,403,767	110,730,860		145,135,815	11,120,019			156,255,834
印刷製本費	378,773	4,057,562	10,244,703		14,681,038	4,682,435			19,363,473
燃料費	24,529	2,155,711	2,003,385		4,183,625	1,955,128			6,138,753
光熱水料費	277,273	105,967,899	270,082,295		376,327,467	16,970,289			393,297,756
賃借料	3,277,351	19,184,817	35,286,565		57,758,733	59,439,816			117,198,549
管理許可使用料	0	0	0		0	213,512,014			213,512,014
保険料	44,377	2,426,122	2,379,118		4,849,617	1,723,542			6,573,159
諸謝金	346,962	5,813,140	3,084,339		9,244,441	988,425			10,232,866
交際費	0	142,542	110,761		253,303	0			253,303
渉外費	0	170,207	5,388		175,595	15,758			191,353
諸会費	0	106,000	3,270,219		3,376,219	212,500			3,588,719
租税公課	122,267	41,799,853	102,417,038		144,339,158	54,318,435			198,657,593
支払負担金	19,695,830	734,801	1,151,911		21,582,542	247,280			21,829,822
支払助成金	6,002,000	63,000	5,000		6,070,000	0			6,070,000
支払寄付金	0	0	608,575		608,575	0			608,575
委託費	2,358,505	405,657,293	1,076,548,312		1,484,564,110	218,795,552			1,703,359,662
手数料	210,542	717,196	7,749,025		8,676,763	901,890			9,578,653
広告費	54,450	469,480	12,720,528		13,244,458	104,362			13,348,820
仕入代金	0	0	0		0	21,059,443			21,059,443
雑費	0	0	140,194		140,194	55,550			195,744
管理費							33,800,897		33,800,897
役員報酬							9,826,680		9,826,680
役員賞与							1,646,000		1,646,000
給料手当							7,825,370		7,825,370
賞与引当金繰入額							828,323		828,323
賞金							414,319		414,319
退職給付費用							550,543		550,543
法定福利費							1,865,458		1,865,458
福利厚生費							280,976		280,976
教育研修費							89,994		89,994
旅費交通費							24,785		24,785
通信運搬費							447,573		447,573
減価償却費							53,245		53,245
消耗品費							1,231,368		1,231,368
修繕費							1,063		1,063
印刷製本費							133,095		133,095
燃料費							838		838
光熱水料費							248,006		248,006
賃借料							2,295,781		2,295,781
保険料							2,477		2,477
諸謝金							3,440,070		3,440,070
交際費							220,857		220,857
渉外費							17,941		17,941
諸会費							459,400		459,400
租税公課							77,161		77,161
支払負担金							11,400		11,400
支払助成金							504,000		504,000
委託費							967,153		967,153
手数料							188,318		188,318
広告費							48,703		48,703
経常費用計	78,702,463	1,194,246,382	3,076,953,363	0	4,349,902,208	919,550,024	33,800,897	0	5,303,253,129
評価損益等調整前当期経常増減額	△44,757,173	△93,570,140	△188,362,808	70,500	△326,519,621	308,730,689	△32,612,867	0	△50,501,799
基本財産評価損益等	0	0	0	△71,715	△71,715	0	0	0	△71,715

科 目	業 務 種 別					収益事業等会計 経営事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	共通	小計				
特定資産評価損益等	△3,754,547	0	0	0	△3,754,547	0	0	0	△3,754,547
評価損益等計	△3,754,547	0	0	△71,715	△3,826,262	0	0	0	△3,826,262
当期経常増減額	△48,511,720	△93,570,140	△188,352,808	△1,215	△330,445,883	308,730,688	△32,612,867	0	△54,328,051
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
固定資産売却益	0	2,000	0	0	2,000	0	0	0	2,000
経常外収益計	0	2,000	0	0	2,000	0	0	0	2,000
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	1	4	0	5	3	0	0	8
経常外費用計	0	1	4	0	5	3	0	0	8
当期経常外増減額	0	1,999	△4	0	1,995	△3	0	0	1,992
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△48,511,720	△93,568,141	△188,352,812	△1,215	△330,443,888	308,730,686	△32,612,867	0	△54,326,069
他会計振替額	0	0	0	167,252,810	167,252,810	△200,380,151	33,127,341	0	0
うち収益の繰入				167,252,810	167,252,810	△167,252,810	0	0	0
うち資産の移転				0	0	△33,127,341	33,127,341	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△48,511,720	△93,568,141	△188,352,812	167,251,595	△163,191,078	108,350,535	514,474	0	△54,326,069
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	48,292,300	0	0	48,292,300
当期一般正味財産増減額	△48,511,720	△93,568,141	△188,352,812	167,251,595	△163,191,078	60,058,235	514,474	0	△102,618,369
一般正味財産期首残高					447,260,409	2,739,200,985	1,202,575	0	3,187,663,969
一般正味財産期末残高					284,069,331	2,799,259,220	1,717,049	0	3,085,045,600
II 指定正味財産増減の部									
受取国庫補助金	0	150,000	0	0	150,000	0	0	0	150,000
受取横浜市補助金	0	1,606,000	0	0	1,606,000	0	0	0	1,606,000
受取寄付金	7,079,383	1,000,000	13,500,000	0	21,579,383	0	0	0	21,579,383
基本財産評価損	0	0	0	36,285	36,285	0	0	0	36,285
特定資産評価損	22,673,003	0	0	0	22,673,003	0	0	0	22,673,003
一般正味財産への振替額	0	△561,666	△19,632,032	0	△20,193,698	△50,433	0	0	△20,244,131
当期指定正味財産増減額	△15,593,620	2,194,334	△16,132,032	△36,285	△19,567,603	△50,433	0	0	△19,618,036
指定正味財産期首残高					2,623,561,413	151,308	0	0	2,623,712,721
指定正味財産期末残高					2,603,993,810	100,875	0	0	2,604,094,685
III 正味財産期末残高					2,888,063,141	2,799,360,095	1,717,049	0	5,689,140,285

【参考資料】

1 野毛山動物園開園 70 周年の取組

実施日	内容	カテゴリー
(令和3年3月)～令和3年12月	開園 70 周年記念特設ホームページの新規公開	広報
7 月、9 月、11 月	広報よこはま中区版・西区版への連載記事の掲載	
12 月 7 日	「野毛山動物園開園 70 周年をみんなで応援しよう クラウドファンディングを活用(目標金額 100 万円に対して 570 万円のご支援)をいただきました」を記者発表	
10 月 26 日	「野毛山動物園でクラウドファンディング支援金の一部を使用した レッサーパンダの新しい展示場が完成しました」を記者発表	
(3 月)～8 月	横浜市庁舎、横浜高島屋、西区役所、中区役所、横浜市中心図書館でのパネル展等の実施	地域連携
11 月 29 日～28 日	西区老人会との企画展(塗り絵)の実施	
12 月 12 日	野毛地区センターとの動物園写真コンクール及び展示の実施	
4 月 1 日～6 月 29 日	購入型クラウドファンディングの実施	市民協働
11 月 2 日～	クラウドファンディングの資金を一部活用して改修したレッサーパンダ展示場の公開	
4 月 1 日、2 日	開園 70 周年記念感謝祭	イベント
(3 月 23 日)～12 月 28 日	野毛山動物園 70 年思い出巡り	
(3 月 23 日)～12 月 28 日	あちこち 70 動物も一緒に 70 周年	
(3 月 23 日)～12 月 28 日	70 年のあゆみ・思い出のアルバム	
(1 月)～	「ラージャランチ」など記念メニュー・商品販売	商品開発
(3 月 17 日)～12 月 28 日	ポストカード機「MY POSCA」にて記念フレーム販売	

2 金沢動物園開園 40 周年の取組

実施日	内容	カテゴリー
10 月 1 日～(12 月 31 日)	開園 40 周年記念特設ホームページの新規公開	広報
11 月 19 日～	「写真で紡ぐ、思い出の中の金沢動物園」の写真募集にあたり、園の職員が金沢動物園の思い出を語る動画を YouTube で 5 本配信	
12 月 1 日～	開園 40 周年記念ロゴマークを作成し園内マップ、季節ポスターに掲載	
1 月～	40 周年ロゴをデザインしたピンバッジを作成し配布	
2 月、3 月	広報よこはま金沢区版(2 月)、港南区版・磯子区版・戸塚区版・栄区版(3 月)への記事掲載	

1月1日～(11月30日)	ごみ収集車からの放送によるPR(横浜市内全域)	
3月1日～11日	クラウドファンディングと連携した「Twitter 上に金沢動物園を再現しよう！」キャンペーンを実施	
3月15日～(12月31日)	金沢自然公園、金沢文庫ふれあい商店街への40周年記念フラッグの設置	
3月19日	開園40周年記念誌発行	
3月28日～(4月17日)	市営地下鉄横浜駅改札 への特大ポスターの掲出	
12月7日	「金沢動物園開園40周年記念 特別デザイン年間パスポート2種を限定販売します」を記者発表	
1月17日	「金沢動物園開園40周年記念 インドゾウ展示場に自動給水装置を設置するためのクラウドファンディングを実施します」を記者発表	
2月22日	「金沢動物園開園40周年記念クラウドファンディング 500万円の目標達成！ネクストゴール800万円に挑戦しています」を記者発表	
3月3日	「横浜市立金沢動物園開園40周年イベントの展開～写真展、パネル展、コラボレーション企画等を実施」を記者発表	
3月14日	「金沢動物園開園40周年記念クラウドファンディング 総額9,256,000円(※金額は速報値)のご支援をいただき目標金額を達成することができました！」を記者発表	
3月24日	「金沢動物園開園40周年記念 株式会社タカラミー×金沢動物園コラボ月間動物フィギュア「アニア」プレゼントキャンペーンを実施します」を記者発表	
3月13日	横浜美術大学と包括連携協定を締結し、開園40周年を記念してコアラをモチーフとした撮影スポット「腕はめコアラ」を制作、設置	地域連携
3月26日	京急キッズチャレンジ「1日園長体験&動物を学ぼう！」を実施	
1月17日～3月11日	寄付型クラウドファンディングの実施	市民協働
1月2日～	特別デザイン(シロテテナガザル、コアラ)の年間パスポート2種を各1,500枚、計3,000枚販売	
3月19日～(6月12日)	写真展「写真で紡ぐ、思い出の金沢動物園」の実施	イベント
3月19日～(12月28日)	「金沢動物園今昔パネル展」の実施	
1月15日～	ポストカード機「MY POSCA」にて記念フレーム販売	商品開発
3月16日～	「ボンくんランチプレート」など記念メニュー・商品販売	

3 広報印刷物実績

<3園>

発行時期	広報印刷物名
令和3年7月	よこはま夜の動物園2022ポスター B1版285枚、B3版3,593枚

<よこはま>

発行時期	広報印刷物名
令和3年5月	園内マップ 日本語版 250,000 部 外国語版 5,000 部
令和3年6月	イベントガイド夏号 30,000 部
令和3年7月	夏イベントポスター B1版 205 部、B3版 2,788 部 夏イベントチラシ A4版 3,000 部
令和3年8月	ナイトズーラシア専用マップ A4版 25,000 部
令和3年9月	秋イベントポスター B1版 224 部、B3版 758 部 イベントガイド秋号 20,000 部
令和3年12月	冬イベントポスター B1版 211 部、B3版 2,258 部 イベントガイド冬号 30,000 部 園内マップ 日本語版 140,000 部
令和4年3月	春イベントポスター B1版 209 部、B3版 2,261 部 イベントガイド春号 30,000 部

<野毛山>

発行時期	広報印刷物名
令和3年6月	園内マップ 20,000 部、園内季刊誌ふぉ～し～ず～ん 夏号 第92号 1,000 部、 のげやまどうぶつえんだより 初夏号 200 部
令和3年7月	のげやまどうぶつえんだより 夏号 200 部
令和3年8月	野毛山動物園秋イベントポスター B1版 71 部・B3版 855 部
令和3年9月	園内マップ 20,000 部、園内季刊誌ふぉ～し～ず～ん 秋号 第93号 1,200 部、 のげやまどうぶつえんだより 秋号 500 部
令和3年10月	のげやまどうぶつえんだより 冬号 300 部
令和3年11月	野毛山動物園冬イベントポスター B1版 63 部・B3版 855 部
令和3年12月	園内マップ 20,000 部、園内季刊誌ふぉ～し～ず～ん 冬号 第94号 800 部
令和4年1月	野毛山動物園春イベントポスター B1版 213 部・B3版 955 部、のげやまどうぶつえんだより 冬号②300 部
令和4年2月	のげやまどうぶつえんだより 春号 500 部
令和4年3月	園内マップ 20,000 部、園内季刊誌ふぉ～し～ず～ん 春号 第95号 1,000 部

<金沢>

発行時期	広報印刷物名
令和3年6月	金沢動物園だより6月号 150 部
令和3年7月	金沢動物園だより7月号 200 部
令和3年8月	金沢動物園だより8月号 200 部、秋ポスターB1版 220 部・B3版 1,225 部
令和3年9月	金沢動物園だより9月号 250 部
令和3年10月	金沢動物園だより10月号 300 部
令和3年11月	金沢動物園だより11月号 250 部、冬ポスター B1版 220 部・B3版 1,225 部
令和3年12月	金沢動物園だより12月号 130 部、園内マップ(40周年記念)50,000 部
令和4年1月	金沢動物園だより1月号 100 部
令和4年2月	金沢動物園だより2月号 100 部、春ポスター B1版 220 部・B3版 1,225 部
令和4年3月	金沢動物園だより3月号 250 部

4 ホームページでの情報発信実績

<三園>

名称	時期	内容
横浜の動物園での取組み	平成 28 年7月～	三園の情報を発信するサイト

<よこはま>

特設サイト

名称	時期	内容
ズーラシア夜市	令和3年7月～8月	ナイトズーラシアと同時開催となる、夜市についての見どころ等を紹介

ブログ

名称	時期	内容
飼育日誌	平成 19 年4月～	飼育担当者による動物たちの日常を紹介
ブログ de ズーラシア	平成 19 年5月～	イベントの様子や園内装飾、植物等ズーラシアの様々な情報を紹介
チンパンジーの森日記	平成 21 年3月～	チンパンジーの日常や関連イベントを紹介
すまとらとらブログ	平成 26 年9月8日～	スマトラトラの日常や子どもたちの成長記録
アフリカのサバンナ@ズーラシア	平成 26 年 11 月1日～	「アフリカのサバンナ」ゾーンの動物たちの日常や生態等を紹介
ばかばか広場	平成 27 年9月1日～	ばかばか広場のウマやモルモットたちの日常や生態、飼育やイベントについて紹介
ズーラシア春夏秋冬	令和3年4月 1 日～	飼育動物以外の園内で見られる動植物を紹介

<野毛山>

特設サイト

名称	時期	内容
開園 70 周年記念特設サイト	(令和3年3月)～令和4年12 月	令和3年4月1日の野毛山動物園開園 70 周年に関連する情報を発信するサイト

ブログ

名称	時期	内容
動物トピックス	平成 20 年4月～	野毛山に住む動物たちと、野毛山で毎日働いている飼育係や獣医師のトピックスを紹介
なかよしタイムズ	平成 20 年 12 月～	なかよし広場で飼育している動物の日々の様子を紹介
レプ担当のれぷブログ	平成 21 年5月～	爬虫類の日々の様子を紹介
みらいを見つめるチンパンジー	平成 23 年7月～	みなとみらい地区を望む野毛山の高台で生活するチンパンジーたちの日常をつづる
のげやまといおん ～ TRY ON～	平成 29 年6月～	トラとライオンの日々の様子を紹介

<金沢>

特設サイト

名称	時期	内容
開園 40 周年記念特設サイト	令和3年 10 月～	令和4年3月 17 日の金沢動物園開園 40 周年に関連する情報を発信するサイト

ブログ

名称	時期	内容
飼育こぼれ話	平成 17 年5月～	飼育員が担当動物について紹介(平成 22 年1月よりブログ化)
花情報	平成 17 年 10 月～	植物普及担当が季節の花について紹介
OH!カンガルー	平成 20 年 12 月～	オオカンガルーの個体紹介やトピックス
ちっちゃないきものたち	平成 29 年 5 月～	身近ないきもの館の生きものや野生生物について紹介
オオきなツノのヒツジの日記	令和 2 年 8 月～	オオツノヒツジの子の成長や群れの様子、生息地を訪れた様子について紹介

5 寄付を活用した展示場改修等の実績

<よこはま>

財源	概要
アニマルペアレント	インドゾウ展示場の自動給餌機の設置
寄付	テングザル展示場止まり木交換、サブパドック防寒対策改修

<野毛山>

財源	概要
アニマルペアレント	小獣舎冷暖房機器、加湿器、スポットクーラー設置等
寄付	チンパンジー展示場空調設置、展示場ガラス枠修繕
クラウドファンディング 野毛山募金	レッサーパンダ展示場改修

<金沢>

財源	概要
アニマルペアレント	ワラビー舎展示場床の一部をゴムチップ舗装
	インドゾウ舎用耕運機購入
	アラビアオリックス展示場日よけ雨よけ用パラソル設置
寄付	ヤギ展示場木製橋改修
	ペリカン展示場木製デッキ改修
	南米舎自動給水装置改修
	ミゾゴイ用ケージ改修
	カピバラ展示場プール改修

6 学校教育向けプログラム実績

<来園プログラム>

三園または二園

プログラム名	概要(コロナ拡大防止対応)	参加人数
①どうぶつ園のじゅうい	獣医の一日を紹介(DVDの貸し出しによる実施を含む)	1,148(よ) 357(野) 1,234(金)
②どうぶつの赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについて解説	310(よ) 0(野) 225(金)
③動物たちにズームイン	動物のクイズや毛皮や骨等に実際に触れながら解説	192(金)
④飼育員の1日	飼育員の1日の仕事を紹介	326(よ) 265(野) 185(金)
⑤ゾウ舎バックヤードツアー	ゾウの寝室と飼料庫(エサ置き場)に案内し、解説	712(よ) 0(金)
⑥職業体験	掃除や餌の準備、イベントでの接客等の体験	中止(よ) 9(野) 20(金)
⑦職場見学	環境問題に取り組む動物園の役割を紹介	0(よ) 中止(野・金)
⑧職業インタビュー	動物園のスタッフに動物園の仕事についてのインタビュー	18(よ) 61(野) 15(金)

よこはま

プログラム名	概要	参加人数
⑨なりきり獣医さん	獣医の仕事についてのお話と、獣医の仕事道具の聴診器等を用いた体験型プログラム	中止
⑩動物園の概要	動物園の役割やよこはま動物園の特徴等について解説	233
⑪しっぽの使い方	動物のしっぽの使い方の紹介	301
⑫オスとメスの違い	オスとメスの体の違いの説明	0
⑬色々な赤ちゃん	おとなと比較し、赤ちゃんだけの特徴のお話	222
⑭獣医師のお仕事	写真を見ながら動物のケガや病気を説明	1,338

金沢

プログラム名	概要	参加人数
⑮虫はかせになろう	昆虫の説明と身近な生き物の観察	273
⑯動物のほねときん肉	実物の動物たちに触れながら、動物の骨と筋肉について解説	1,967
⑰ヒソジはかせになろう	家畜動物との関わりとその実用例について学ぶ	34
⑱ゾウのトレーニングガイド	ゾウのトレーニングの様子を、ガイドを聞きながら見学	492
⑲キリンのおやつガイド	木の葉を食べるキリンの観察と飼育員の解説	568

⑳動物のたんじょう	動物の誕生の仕組みを動物園での繁殖事例をもとに説明	0
-----------	---------------------------	---

<出張プログラム>

三園または二園

プログラム名	概要(コロナ拡大防止対応)	参加人数
㉑動物の赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについて解説(オンライン、DVD 貸し出しによる実施を含む)	473(よ) 240(野) 395(金)
㉒飼育員の1日	飼育員の1日の仕事を紹介(オンライン、DVD 貸し出しによる実施を含む)	560(よ) 349(野) 2,928(金)
㉓動物たちにズームイン	動物のクイズや毛皮や骨等に実際に触れながら解説	314(よ) 0(野) 402(金)
㉔職業講話	動物園スタッフが学校に出向いて、飼育員が行う仕事について解説(オンライン、DVD 貸し出しによる実施を含む)	920(よ) 400(野) 602(金)

野毛山動物園

プログラム名	概要(コロナ拡大防止対応)	参加人数
㉕かんさつ名人になろう!	専用のワークシートに書きこみながら、モルモットやハツカネズミ等とのふれあい方法と観察方法を実践と対話形式で学ぶ。	456

<学校等と創り上げるプログラム>

三園

プログラム名	概要	参加人数
動物園学習	学校の要望に合わせ、学習プログラムを用意(園内での対面、DVDの貸し出し、オンライン、電話、資料提供、園内での対面実施を含む。)1回出張もしくは来園で実施するプログラム	7(よ) 39(野) 1,097(金)
連携授業	学校の要望に合わせ、動物の生態や動物園の役割等を先生や児童等と連携授業計画を作成。2回以上(原則1回以上来園)連続して実施するプログラム。	170(よ) 556(野) 558(金)

7 動物園研究会実績

<よこはま> 24題

発表日	タイトル	テーマ
6月1日	グラントシマウマの自傷行為	グラントシマウマ
6月1日	単独飼育から複数飼育への変化がライオンの行動や性格とホルモン動態に及ぼす影響	ライオン
6月25日	インドゾウ展示場改修工事とその間の飼育管理の報告	インドゾウ
6月25日	ユーラシアカワウソの泌尿器疾患に関する研究報告	ユーラシアカワウソ
7月20日	グラントシマウマの搬出	グラントシマウマ
7月20日	ハリスホークのパーチング要因	ハリスホーク
7月28日	人工授精によるツシマヤマメネコの繁殖および繁殖子の人工保育	ツシマヤマメネコ

8月14日	当園でのアジアゾウのBCS利用について	インドゾウ
8月14日	ツシマヤマネコにおける人工授精の取り組みについて	ツシマヤマネコ
9月29日	オンラインツール「Zoom」を使用した環境教育プログラムについて	教育普及
10月29日	スマトラトラの人工哺育	スマトラトラ
11月29日	ゴールデンターキンの妊娠期・授乳期および幼齢期の栄養と仔の成長	ゴールデンターキン
11月29日	アカカワイノシシの安楽死殺事例について	アカカワイノシシ
12月25日	アカカワイノシシの扁平上皮癌の1例	アカカワイノシシ
12月25日	オオアライクイの腸管閉塞	オオアライクイ
1月19日	園内の自然を活用したプログラム等と今後の課題	教育普及
1月19日	動物園におけるSDGs啓発の取り組み ～海洋プラスチック問題を題材とした講演会の実施～	教育普及
1月20日	高齢インドライオンの飼育管理について	インドライオン
2月17日	ボウシテナガザルの人工哺育	ボウシテナガザル
2月28日	レッサーパンダの人工哺育	レッサーパンダ
2月28日	有効性のあるSNS投稿について	SNS
3月19日	チンパンジー新規個体の群入り状況	チンパンジー
3月22日	輝け若者たち～ゴールデンターキンの誕生と成長～	ゴールデンターキン
3月22日	苦労犀との6年間	ヒガシクロサイ

野毛山 12題

実施日	タイトル	テーマ
5月3日	コロナ禍の1年間・・・、なかよし広場はいったい何をしていたのか	ふれあい動物
5月27日	フンボルトペンギンに対するエンリッチメントの数々	フンボルトペンギン
6月30日	トレーニングを用いたアカエリマキキツネザルの捕獲方法の変更(経過報告)	アカエリマキキツネザル
7月29日	アカエリマキキツネザルの腸炎についての報告(今年の年始に何が起こったのか?)	アカエリマキキツネザル
8月27日	過去の記録から得られたルリゴシボタンインコについての報告	ルリゴシボタンインコ
9月29日	カグーの鳴き交わり変化についての報告	カグー
11月1日	チンパンジーのハズバンダリートレーニング始めてみました	チンパンジー
12月6日	海外の動物園の調査研究	海外動物園
12月16日	ふれあわない観察プログラムとオンライン授業とその評価について	教育普及
1月31日	スマトラトラの搬出入例 ～野毛山の場合～	スマトラトラ
2月19日	出張どうぶつえん「飼育員の一日」に寄せられた小学校2年生からの質問について	教育普及
3月29日	起立不能になった高齢ホンシュウジカの治療及び飼育経過	ホンシュウジカ

金沢 12題

実施日	タイトル	テーマ
6月21日	動物福祉に配慮したオカピの削蹄方法の一例	オカピ
7月25日	傷病鳥獣保護事業におけるスズメの育雛について	傷病鳥獣
8月25日	金沢動物園で見られたシェアードメディアによる情報発信について	広報
8月28日	ベアードバクの輸送と現在の飼育管理	ベアードバク

9月14日	ツチガエル飼育の経緯と繁殖	ツチガエル
10月19日	飼育下パルマワラビーにおける 環境改善と給餌エンリッチメントでの効果測定	パルマワラビー
10月26日	インドサイの相互 BL による移動について	インドサイ
11月2日	オオツノヒツジの生態展示とその効果の検証	オオルノヒツジ
12月22日	スーチョワンバーラルで 実施した高齢個体に対するケアの事例について	スーチョワンバーラル
1月11日	コアラの異動について	コアラ
2月16日	アマミトゲネズミの難治性皮膚疾患	アマミトゲネズミ
3月24日	金沢動物園の竹林管理について	保全管理計画